

社会福祉法人ふるさと 令和6年度事業報告「法人本部」

1. 総 括

コロナ感染症が5類に移行され、行動制限のない日常が本格的に戻りはじめた令和5年度を経て、令和6年度は本格的に「ポストコロナ時代」における法人運営が問われる一年となった。感染症対応力や事業継続体制の整備は継続課題でありつつも、エネルギー価格や食材料費の高騰、人材確保の難化など経営環境は一段と厳しさを増している。

こうしたなか、当法人では「質の高いケア」「職員が働き続けられる職場」「地域に貢献する福祉の拠点」という3本の柱を軸に、様々な取り組みを重ねてきた。以下、主な取り組みを記す。

○ 改正介護保険報酬への対応と科学的自立支援介護の成果

令和6年度は第9期介護保険報酬改定の年であり、制度全体として医療との連携強化が一層求められる内容となった。当法人では近隣の協力医療機関と連携協定を結び、日常的な情報連携を進めることで、医療依存度の高い利用者への対応力を高める取り組みを進めた。また、科学的データに基づいた介護の実践や、介護現場における生産性向上の取り組みに対する評価が制度的にも重視される中、新たな加算の取得にも取り組んだ。

導入開始から4年目となった「科学的自立支援介護」への取り組みは、当年度さらに定着・展開が進み、リーダー職を中心とした資格取得や、講師による実地巡回指導を通じて、現場の実践が厚みを増した。特に歩行能力の再獲得を目指した取り組みにおいては、全利用者の50%が歩行を再獲得するなど、確実な成果を上げている。

また、老施協全国大会や九社連老人福祉施設大会の発表で各賞を受賞するなど、当法人の取り組みが対外的にも高く評価される結果となった。そうした科学的介護への専門的な取り組みを法人内外に発信する象徴として、「NEXT KAIGO」というコンセプトワードを設定し、当年度中に商標登録も完了した。

○ 経営環境と財務状況

当年度は、経営面において非常に厳しい状況が続いた。光熱費や食材費の高騰に加え、主食である米の価格が前年比で約2倍となるなど、日常運営に直結する支出が大きく膨らんだ。さらに、最低賃金の上昇や処遇改善加算制度の改定対応、民間

企業における賃上げの影響もあり、人件費の負荷も高まっている。

それらに加え、介護 DX の推進やクックフリーズ対応の設備投資（配膳ロボット、業務用洗浄機、リフト機器、インカム、センサー類など）を断行したことにより、当年度決算は単年度赤字となった。

しかしながら、2040 年を見据えた今後の介護保険政策の展開方向や、介護人材確保における他法人・他産業との競争、利用者・家族のケアニーズ等の環境変化を考慮すれば、ICT や介護テクノロジーの活用による生産性向上と、質の高い介護サービスの提供は不可避の最優先課題であると捉えている。当法人としては、この赤字を将来に向けた“先行投資”と位置づけ、経営の持続可能性を高めながら、先進的な実践を積み上げる構えである。

○ セントラルキッチンの完全稼働と業務改革

令和 6 年 3 月より、クックフリーズ方式による全事業所への給食提供が開始。冷凍保管能力は 10 日分を超え、非常時対応も視野に入れた備蓄体制が整った。さらに特養では業務用食器洗浄機 4 台を各フロアに設置し、配膳・洗浄オペレーションの効率化を図った。これまで配膳業務に取られていた介護職の時間が介護業務に還元され、介護の質向上にも寄与している。

○ 介護 DX・テクノロジー導入の推進

県内 2 カ所のみモデル事業である長崎県介護 DX 推進補助金を受託し、配膳ロボット、入浴リフト、床走行リフト、睡眠センサー、音声入力インカムなどを導入・整備した。これにより、業務負担軽減と安全性向上を目指した。早くも音声入力では各フロア月間 10 時間の削減に成功、また、リフト活用についても職員の負担が軽くなった等、ポジティブなフィードバックが届いている。また、各種機器導入に際しては、メーカー・ベンダーからの伴走支援や専門家の研修を継続して受けることから、さらなる導入効果を期待したい。

○ 処遇改善と職場環境改善

処遇改善加算の改定に対応し、給与処遇改善要領を改定（4 月施行）。4 か月間の支援補助金を活用した処遇改善を基礎に、令和 6 年度からの加算制度に円滑に移行した。

また、宿直配置義務の制度解釈が見直され、特養での宿直体制を 4 月末で終了。該当職員の一部は調理業務等へ配置転換し、雇用の継続を図った。

○採用広報・人材定着への取り組み

採用広報については、ハローワークをはじめ、2023 年度から導入したウェブポット機能を持つ「採用コボット」の活用など、あらゆるメディアを使って情報発信を行った。特に当年度も引き続き職員からの紹介制度により 6 名を採用した。人物評

働や定着の安定性において安心できるルートとして今後も力を入れていきたい。

ほか、昨年に引き続き、高校生向け就職情報誌「course」への出稿のパッケージとして、テレビCMを含む広報戦略を展開し、地元テレビ局での介護DX特集の放映により認知度向上を図った。

また、外国人（インドネシア）技能実習生（女性2名）を新たに受け入れ、住居整備も行った。

○ 地域交流事業・ふるさとスプリングマルシェ開催

従来の夏祭りに代わる新たな地域交流イベントとして第2回目となる「ふるさとスプリングマルシェ」を開催。地域カフェや地元団体の協力により300名超の来場者があり、利用者と家族との貴重なふれあいの場となった。

○ 地域連携・協働の深化（西海市内福祉関係者の連携）

西海市社会福祉協議会と西海市福祉施設連絡協議会の連名による呼びかけで、市内5事業者（市社協・寿泉会・さくら会・スローライフプランニング・当法人）が事業者グループを構成し、県補助金を活用した協働実施を行った。

本事業では、各法人が抱える人材確保や職員教育など経営課題の共有と、地域全体としての福祉サービスの持続可能性を検討。今後さらに連携を深め、人口減少が進む中山間地域において、地域における福祉の存続と拠点づくりに挑む覚悟を共有した。

○ ガバナンス・コンプライアンス

当年度に発生したハラスメントに関する内部通報や個人情報漏洩等の事案に対しては、コンプライアンス委員会を招集し、速やかに関係機関と連携し対応を図った。再発防止に向けては、内部通報体制の整備と職員啓発を継続して進める。

「ポストコロナ」初年度となった令和6年度は、変化に対応する実行力が求められた一年であった。制度改正、物価上昇、人口減少、自然災害への備えといった多様なリスクに直面する中、法人としての理念体系（ミッション、ビジョン、コミットメント、プリンシプル）を常に意識し、積み上げてきたリソース（人材、教育、マネジメント、業務システム、設備等）をどう活かすかが問われた。

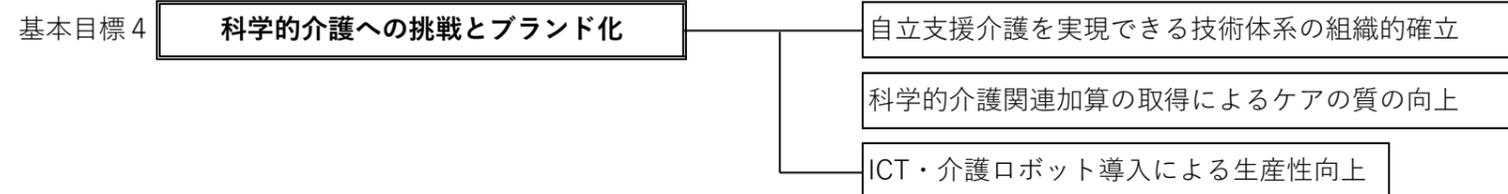
不確実性の高い時代において、現場に即した実践と、職員一人ひとりの努力を重ねることで、地域に根ざした福祉拠点としての役割を果たしていきたい。今後も理念と実行力を両輪に、法人の持続性と地域への貢献を追求していく。

社会福祉法人ふるさと 中期事業計画 2024年度実施状況

事業方針	実施施策	2024年度 実施状況																				
1. 社会への使命 凡例：○ 達成75%以上 △ 75%未満～30% × 30%未満																						
(1) 誰もが住みたくなるまちづくり 基本目標1 生涯活躍のまちづくりへの参与	西海市地域福祉推進会議への参画 西海市生活支援体制整備事業第1層協議体への参画 西海市教育委員としての活動 ボランティアの育成 小中高校における福祉教育への協力	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>○</td><td>西海市地域福祉推進会議副会長として参与</td></tr> <tr><td>○</td><td>生活支援体制整備1層協議体会長として参与</td></tr> <tr><td>○</td><td>全12回の教育委員会に出席</td></tr> <tr><td>○</td><td>三菱ボラ受入れ再開、県社協サマボラPR協力</td></tr> <tr><td>○</td><td>西彼農高にて福祉講座の実施</td></tr> </tbody> </table>	実施	内 容	○	西海市地域福祉推進会議副会長として参与	○	生活支援体制整備1層協議体会長として参与	○	全12回の教育委員会に出席	○	三菱ボラ受入れ再開、県社協サマボラPR協力	○	西彼農高にて福祉講座の実施								
実施	内 容																					
○	西海市地域福祉推進会議副会長として参与																					
○	生活支援体制整備1層協議体会長として参与																					
○	全12回の教育委員会に出席																					
○	三菱ボラ受入れ再開、県社協サマボラPR協力																					
○	西彼農高にて福祉講座の実施																					
(2) いつまでも安心して暮らせるまちづくり 基本目標2 地域包括ケア拠点としての役割の実践	西海市介護保険事業計画策定委員会への参画 西海市医療介護連携協議会への参画 西海市認知症支援体制協議会への参画 西海市自立支援型地域ケア会議への参加 地域（自立支援）介護教室・認知症改善講座の実施 地域における権利擁護活動の実施（居宅） ソーシャルワーク教育の実施 西海市社協との連携強化（含む理事活動） 地域包括支援センターとの相互協力	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>○</td><td>委員長として9期介護事業計画完成（再掲）</td></tr> <tr><td>○</td><td>副会長として協議会に参加</td></tr> <tr><td>○</td><td>委員長として協議会運営に参画</td></tr> <tr><td>○</td><td>居宅より事例提供し検討会に参加</td></tr> <tr><td>○</td><td>石田地区、木場地区にて介護教室開催</td></tr> <tr><td>○</td><td>居宅活動として権利擁護見守り実施</td></tr> <tr><td>○</td><td>レスキュー事業全体会にて研修</td></tr> <tr><td>○</td><td>市内5事業者県補助事業受託・実施</td></tr> <tr><td>○</td><td>全事業所にてあらゆる場面で連携をとった</td></tr> </tbody> </table>	実施	内 容	○	委員長として9期介護事業計画完成（再掲）	○	副会長として協議会に参加	○	委員長として協議会運営に参画	○	居宅より事例提供し検討会に参加	○	石田地区、木場地区にて介護教室開催	○	居宅活動として権利擁護見守り実施	○	レスキュー事業全体会にて研修	○	市内5事業者県補助事業受託・実施	○	全事業所にてあらゆる場面で連携をとった
実施	内 容																					
○	委員長として9期介護事業計画完成（再掲）																					
○	副会長として協議会に参加																					
○	委員長として協議会運営に参画																					
○	居宅より事例提供し検討会に参加																					
○	石田地区、木場地区にて介護教室開催																					
○	居宅活動として権利擁護見守り実施																					
○	レスキュー事業全体会にて研修																					
○	市内5事業者県補助事業受託・実施																					
○	全事業所にてあらゆる場面で連携をとった																					
(3) どんな時も支えあうまちづくり 基本目標3 生きづらさを抱える人々への支援	長崎県レスキュー事業への参加・活動 低所得者に対する利用者負担額軽減制度の実施 寄付文化の醸成のための研究・実験 他法人との連携による地域福祉の推進	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>○</td><td>CSW法人として参加</td></tr> <tr><td>○</td><td>法人減免4名実施</td></tr> <tr><td>×</td><td>特に実施できず</td></tr> <tr><td>○</td><td>市内福祉関係者で共同求人取り組み（再掲）</td></tr> </tbody> </table>	実施	内 容	○	CSW法人として参加	○	法人減免4名実施	×	特に実施できず	○	市内福祉関係者で共同求人取り組み（再掲）										
実施	内 容																					
○	CSW法人として参加																					
○	法人減免4名実施																					
×	特に実施できず																					
○	市内福祉関係者で共同求人取り組み（再掲）																					

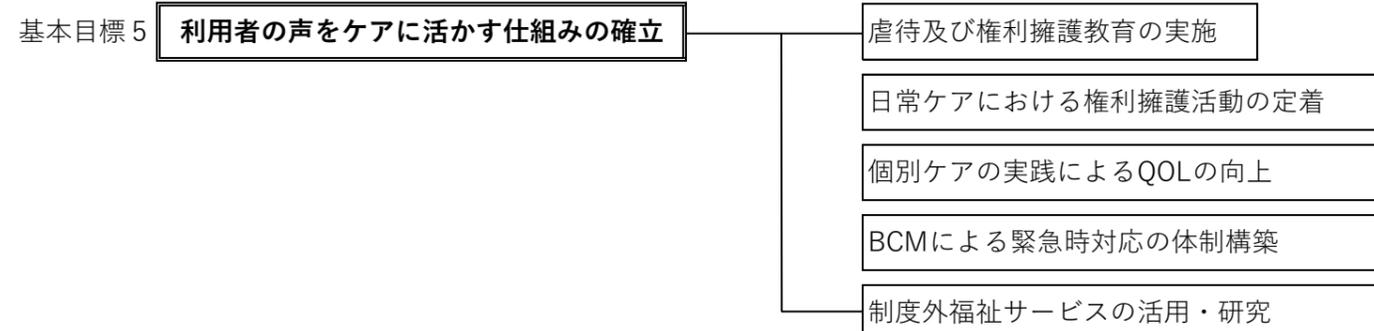
2. ご利用者への使命

(1) 自立支援を実現するケアづくり



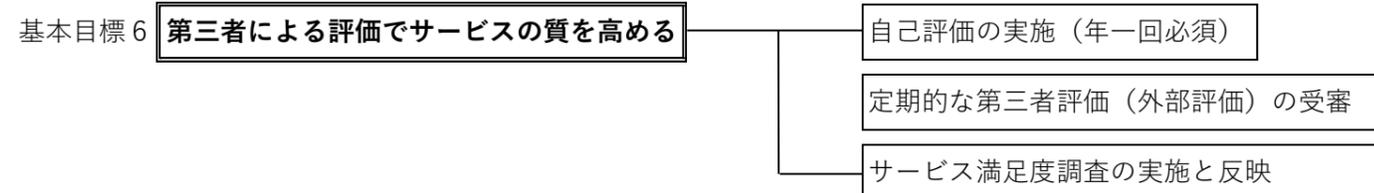
実施	内 容
○	各現場での実践コンサルと理論研修の実施
○	LIFE機能訓練加算、医療連携加算取得
○	県介護DX推進化事業補助金で整備

(2) ご利用者の暮らしを守るチームづくり



実施	内 容
○	研修及び利用者の声、良心シート活用
○	標的行動設定し利用者の声反映に努めた
○	自立支援ケアプランのモニタリング実施
○	感染BCPの随時更新、教育訓練の実施
△	情報収集に留まった

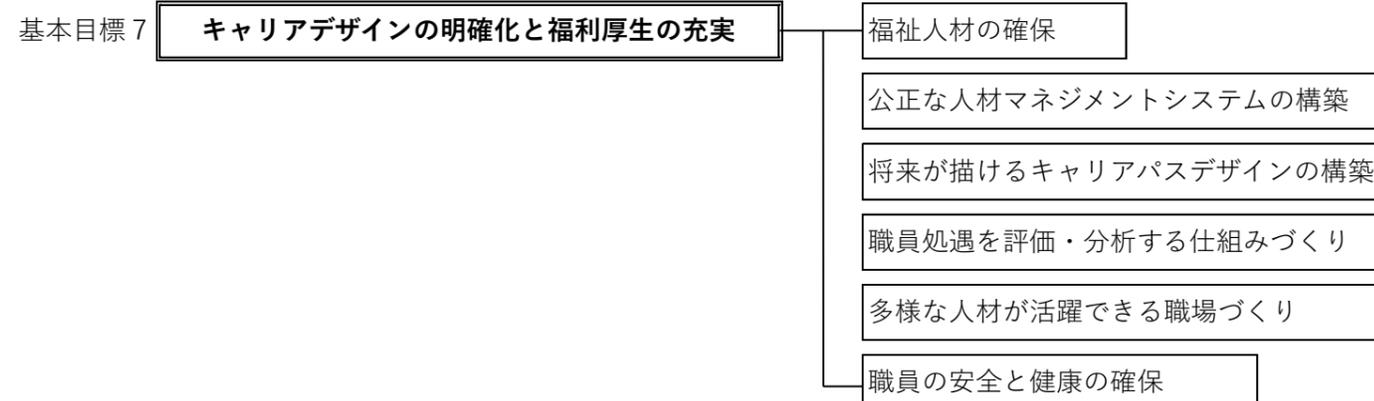
(3) 常にサービスの質を高めるホームづくり



実施	内 容
△	特養以外実施できた
△	特養以外実施できた
○	満足度調査結果をケアへの反映に努めた

3. 働く人への使命

(1) 誰もが働きやすくやりがいある職場づくり



実施	内 容
○	16名採用
○	人事考課制度（FBM・半期面談）運用実施
○	資格・研修受講等積極的に支援した
○	プリンシプルに基づく評価制度運用継続
○	多様な働き方推進とメンタルサポートの実施
○	職場の労働安全衛生確保の推進

(2) 才能を磨き輝く人づくり

基本目標 8

専門職としてのステップアップを支える教育体系

- 指導的リーダー層の育成
- 人材育成制度の構築
- 体系的な研修プログラムの整備
- ライフキャリア形成への支援

実施	内 容
○	リーダー・マネジメント教育の継続実施
△	新・教育体系による動画研修開始
○	新・教育体系とeラーニング受講計画
○	キャリア教育、面談等によるサポート

(3) 高い透明性と規律ある組織づくり

基本目標 9

社会福祉法人としてふさわしい誠実性と倫理観溢れる組織の構築

- 関係法規に基づいた事業経営の透明性の確保
- 健全で安定的な財務基盤の確立
- コンプライアンスの徹底
- ルールに基づいた組織運営
- 職員に対する倫理教育の充実

実施	内 容
○	指導ガイドラインに沿った法人運営の実施
○	物価高騰等コスト増への対応
○	組織ガバナンスに沿った運営実施
○	「ふるさとプリンシプル」の運用
○	教育及び倫理・ルール遵守の業務遂行

○ 施設・事業所の運営状況（概要）

(1) 特別養護老人ホームふるさと

延べ満床数 25,550 人に対し、入所者数 25,405 人（契約率 99.4%/前年比 99.8%）、延べ入院者数及び外泊者数 1,531 人（1 日平均 4.2 人）で、前年（1,139 人）と比べると入院者は増加した。（稼働率前年対比 98.5%）

また、退所者は 30 名と前年（29 人）よりやや増加した。

－ 入退所状況：入所/25 人、退所/30 人（うち施設内看取り 12 人）

平均介護度 3.9（前年 3.9）

(2) 短期入所生活介護（ショートステイふるさと）

延べ利用枠 3,650 人に対し、利用者数は 3,216 人となり、稼働率は前年度を上回った（稼働率 88.1%/前年比 118%）。

－ 平均介護度 2.7（前年 2.7）

(3) 居宅介護支援センターふるさと

居宅介護支援延べ利用者数 708 人（前年比 102.3%）、予防介護支援延べ利用者数 71 人（前年比 58.6%）と、近年順調に伸ばしていた利用者数が、業務担当者の休職により支援ができず、定員調整（上限 44 名）を行い、利用者数が伸びなかった。

(4) グループホームふるさと

延べ満床数 6,570 人に対し、利用者数 6,531 人（契約率 99.4%/前年比 99.7%）と高位の契約率を維持している。一方、延べ入院者数及び外泊者数は 234 人で前年（134 人）と、入院日数が大幅に増加した。

－ 入退所状況：入所/4 人、退所/4 人

平均介護度 2.1（前年 1.7）

(5) 第 2 グループホームふるさと

延べ満床数 6,570 人に対し、利用者数 6,513 人（契約率 99.1%/前年比 99.5%）延べ入院者数及び外泊者数は 129 人と前年（149 人）を下回った。

－ 入退所状況：入所/5 人、退所/5 人

平均介護度 1.8（前年 2.1）

(6) ふるさとシニアライフサポートセンター（小規模多機能ホームふるさと・サービス付きシニアマンションふるさと）

小多機登録定員 19 人/月に対し、登録者数/月平均 15.8 人（契約率 88.2%）、マンション延べ入居者数 190 人（平均 15.8 室/19 室：稼働率 83.3%）であった。小多機が前年比 106.7%、マンションが前年比 106.7%といずれも前年を上回ることができた。

(7) ふるさとレスキュー事業

第二種社会福祉事業「生計困難者に対する相談支援事業」

長崎県内の複数の社会福祉法人による社会貢献事業「生計困難者レスキュー事業」に参加し、生活困窮者に対する相談支援事業を実施している。レスキュー事業対応として、生活困窮となり、就労までの公共料金や通信費、食料等の支援を1件対応した。

○重点分野取り組み状況と課題

	R6年度；目標と目標達成計画	R6年度；取り組み状況
科学的自立支援介護の実現	<p>【目標】 理論に基づく自立支援介護の実現</p> <p>【実施計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 科学的（自立支援）介護コンサルティング業務契約による実践指導と成果測定による改善評価の継続実施 口腔ケア「ゼロプロ」コンサルティング業務契約による歯科医、歯科衛生士による実践指導と成果測定による改善評価の継続実施 ノーリフティングケアへの取組み 報酬改定により創設、見直しがあったLIFE 関連加算の取得 	<p>《取り組み状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> 自立支援介護トレーニング受講 専門講師が事業所巡回しての実践指導と併せ、理論と事例検討を重ねながら技術の定着を図った。また、昨年エキスパートに合格した対象者はマイスター研修を受講、新たに8人がエキスパート合格を目指し受講している 口腔ケアゼロプロジェクトの継続実施し、歯科医師、歯科衛生師のもと口腔ケア実践の標準化を進めた。また、歯科衛生士を新たに採用し、さらなる口腔ケアの強化を図った。 特養、両GHとも口腔ケア関連加算算定継続中 LIFEの事業所及び利用者のフィードバックのタイミングがシステム改修のため大幅に遅れ、ケアプランに反映するまでの十分な参考とはならなかった。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">収益性の向上と安定の確保</p>	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稼働率、入院率等収益の見える化を図り、目標意識をもった組織運営を目指す ・LIFE 関連加算取得により収益増を図る ・生産性向上委員会の設置と運営 ・介護機器及び ICT の導入検討及び活用 ・クックフリーズ方式セントラルキッチンの本格稼働 <p>【実施計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成長のルールに基づいた適切な職員標的行動の設定と遂行 ・各加算の取得計画の立案とモニタリング ・入院率抑制に向けた利用者健康管理のさらなる見える化を図る ・生産性向上委員会運営に向け、国が示す生産性向上ガイドラインを活用する ・各種 ICT 機器、ソフトの効果検証 ・クックフリーズ方式の運用マニュアルの作成 	<p>《取り組み状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年度介護保険改正により新たに位置づけされた生産性向上に係る各要件及び加算について、体制構築に積極的に取り組み早期に加算（Ⅱ）を取得した ・長崎県の介護 DX 化補助事業を受託し、直接介護時間の増加と業務負担の低減を目的とする各機器を導入整備した ・利用者の健康管理を強化し、見える化による早期対応に取り組んだが、全体で入院日数は昨年度を大きく上回った（全事業所合計入院日数：当年度 1,894 日/前年度 1,422 日：対前年比 133.2%） ・クックフリーズ本格稼働 1 年目として、冷凍貯蔵日数の目標 14 日には届かないものの、平均貯蔵日数 8 日前後を安定的に確保できる体制が整った
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">権利擁護の完全実施</p>	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束適正化及び高齢者虐待防止に関する適切な事業運営 ・利用者自己実現目標の 100%実施 <p>【実施計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・e ラーニングによる研修計画により全職員が適切に法定研修を受講する ・法人苦情解決第三者委員会を開催し、関係機関に対する情報開示を行う ・利用者ごとに自己実現目標を設定し、その達成を支援し、達成度合いを測定する ・「介護の良心シート」を活用した権利擁護教育の実施 	<p>《取り組み状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・e ラーニングによる研修計画により全職員が適切に法定研修を受講した ・法人苦情解決第三者委員会を開催し、関係機関に対する情報開示を行った。会議では各委員より職員への労いの言葉も聞かれた ・利用者ごとに自己実現目標を聞き取り、その実現に取り組んだ。 ・介護の良心シート制度を開始し、職員の権利擁護に対する意識啓発に努めた

リスク マ ネ ジ メ ン ト	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事故発生及び事故発生リスクの評価等を数値目標化し、具体的な改善計画で達成を目指す <p>【実施計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 睡眠センサーの活用 ・ リスク評価の見える化（全事業所） ・ 歩行解析アプリの活用（全事業所） 	<p>《取り組み状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 睡眠センサーの活用について各事業所の安全対策委員会等にて評価を行った ・ リスク評価基準に基づく評価を行った ・ 歩行解析アプリ「トルト」による測定・評価が定着した。居宅や家族に対する説明でも好評を得ている
-----------------------------------	--	---

<p>人材育成・確保・定着</p>	<p>○ 採用</p> <p>【目標】</p> <p>人材確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規職員採用 2 名以上 高校卒 1 名、専門学校大学卒 1 名採用 ・ 中途職員採用 10 名 介護職：常勤 5 名、非常勤 3 名 <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ HP、SNS の更新担当者を決め、ブログの週一回の更新、インスタグラムのフォロワー数を 500 に増やす ・ SMOUT プロジェクト、空屋改修事業の取り組みを継続する ・ 職員による採用紹介を毎月 1 名とし、推奨する ・ ハローワーク、福祉人材バンク、及びオンライン合同面談会の参加 100% ・ 高校生のインターンシップ受入事業及び介護福祉基礎講座、学校訪問継続する ・ 職場見学、職場体験の個別対応に加え、学生、一般向けの職場見学会の実施 ・ 技能実習生の次年度採用に向けての宿舍の増築を計画する。 <p>○ 育成</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 法人職員研修プログラムの実施 ・ 科学的介護エキスパートの養成 ・ 研修指導者の育成 <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上半期での全職員個別研修計画表を策定し、講習指導者の選定を行う。資格取得の実施指導に取り組む ・ e ラーニングでの職種別、階級別、法定研修に加え、自立支援研修等のスキルアップ受講内容を検討策定する ・ 科学的介護理論エキスパート試験を各職域 10 名受講し、自走に向けて実践を促進する 	<p>《取り組み状況》</p> <p>○採用</p> <p>新規採用職員：1 名（高校既卒 1 名常勤事務員） 達成率 50%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 技能実習生：2 名 ・ 中途職員採用：7 名 達成率 70% 介護職：常勤 4 名、非常勤夜勤専従 1 名 他常勤：介護サポーター 1 名 非常勤：看護師 1 名、歯科衛生士 1 名、介護サポーター 1 名 <p>採用 常勤 6 名、非常勤 4 名 計 10 名</p> <p>【別掲アルバイト採用】</p> <p>再雇用調理員 2 名、介護職 1 名、夜勤専従 3 名 計 6 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員による求職希望者紹介を毎月 1 名を推奨：職員紹介 6 名 達成率 50% ※職員採用に関する報奨金支給（バイト含む）紹介・1 年定着（3 名含む）1,090,000 円 ・ 職員紹介用のリファラルカードを作成 ・ HP のリニューアル 採用ページ（dip 採用コボット）定例の分析会議にて閲覧数を増やすべく、「NEXT KAIGO」を掲載し新しい雇用の創出を増やす。採用チラシ 動画作成をする。 西海市福祉事業者グループ職場改善事業に人材確保に参画し dip 採用コボットを開設 ・ 高校、大学の就職予定者へ採用情報誌「COURSE」配付を、県北限定から県内の一部中学生を含む 35 校へ拡大した。（7,167 部配付） ・ 求人募集として「COURSE」の動画作成を基に、NBC テレビ「Pint」に出演
-------------------	---	--

<ul style="list-style-type: none"> ・ゼロプロ式口腔ケアセミナーを継続し、初級 13 名 中級 2 名、上級 5 名資格取得者数を増やし、OJT 指導及び地域の介護教室での口腔ケア指導者を育成する ・管理者・主任・リーダークラスのマネジメントと OJT に向けての指導者育成を行う <p>○ 定着</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材定着率 90%以上、離職率 10% ・資格取得の推奨と支援 ・心理的安全性の確保 ・年休取得率 40% ・超過勤務削減 10% ・業務効率化削減 10% <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格取得支援 <ul style="list-style-type: none"> 介護福祉士 4 名 介護支援専門員 2 名 認知症実践者 2 名 管理者研修 1 名 ユニットリーダー研修 2 名 ・特定経過措置運用終了のため特養介護職の喀痰吸引等資格取得医療的ケア受講 10 名及び実地研修 10 名 ・ノーリフト福祉機器の導入を推進し、職員の腰痛予防対策と業務効率化を図る ・健康管理指導とメンタルサポート研修、個別カウンセリングの実施 ・フィードバック MTG、人事考課面接技法のスキルアップ 	<p>し、介護 DX の取り組みについて紹介した。さらに 15 秒のテレビ CM を 2 か月間 48 本放映した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インスタグラムは 3 月でフォロワー数 1,000 人に達した 達成率 200% ・ハローワーク、福祉人材バンク、及び県北の全高校生参加型の合同企業面接会の参加 100% ・西彼農高校生のインターンシップ 2 名及び求人応募前見学 1 名受入実施 ・西彼農高での介護福祉基礎講座を継続実施、さらに同校に魅力伝道師派遣し福祉の推進に貢献した。 ・9 月、技能実習生 1 期生 3 名の内 1 名が介護試験不合格・業務適正不可で終了。1 月 2 期生 2 名受入（キッズ寮）のため、川内寮へ改装工事と通勤手段を確保し 1 期生 2 名転居した。 ・職場見学個別 22 名実施 西海市福祉事業者グループ職場改善事業、福祉×地域体験エクスカーションに参画、高校生、移住者一般向けの職場見学会を実施した。 <p>○ 育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人職員研修はeラーニング、随時の動画研修プログラムの実施 ・研修指導者の育成についての未実施 ・OHAT 評価、口腔ケアセミナーを継続初級 6 名、中級 1 名資格取得 累計取得率 62.5%（初級 17 名、中級 21 名、上級 2 名） ・科学的自立支援介護訪問コンサルティング研修を隔月継続実施 及び随時、ケアエキスパート養成研修を実施した。 <p>○ 定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格取得支援 ・介護職実務者研修受講 2 名（令和 6 年
--	--

	<p>度西海市介護人材確保対策事業補助金 交付 153,538 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員更新研修 1 名 ・社会福祉主事任用資格 ・介護福祉士 1 名 ・退職 常勤 9 名、非常勤 5 名 <p style="text-align: center;"><u>計 14 名（現職員数 114 名）</u></p> <p>離職率 7.9%（技能実習生 1 名 定年 1 名 契約満了 3 名 計 5 名除く） 入職 3 年未満 4 名退職</p> <p>【別掲：アルバイト 清掃・介護 4 名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者（60 歳以上）雇用助成金交付 3 名 1,100,000 円 ・lon1 フィードバック面接は設定と考課 内容の修正・研修を実施できたが、特養 での 1 回/10 日の面談が実施できな かった。 ・全法人、ストレスチェックを実施 特養の高ストレス者が目立ち、メンタ ルヘルス対策として全法人 16 名の個 別カウンセリングを実施、次年度の継 続フォローを予定 ・介護 DX 導入にて、特に、特養でのハナ スト・ガルーンでの情報取得と aams 導 入での夜勤の対応時間の業務省力化と負 担軽減ができた ・年休取得率 35.8% 10.5/一人 前年 度より 6.5%減となった。（別掲） ・常勤介護職の退職により、超過勤務の 軽減はできなかった。
--	---

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">組織マネジメント</p>	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人プリンシプルに則り、与えられた役割の遂行に取り組み、規律ある組織を目指す ・組織運営の生産性向上（サービスの質の向上及び業務改善）に取り組む <p>【実施計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとプリンシプルに則った組織運営の自己評価実施 ・管理部門も含めた生産性向上委員会の設置と効果的な運用による実効性ある業務改善策の実施 ・会計入力事務所と連携した計算書類作成業務の効率化 	<p>《取り組み状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織マネジメント体制の運用定着を支援するメンテナンスコンサルを引き続き外部コンサルに委託して実施した ・Garoon のベンダーであるアイコックと、適宜課題を共有し、アプリの開発、修正を図ることで、確実な業務改善につながっている <p>※Garoon の開発・改修</p> <p>（開発）地域貢献活動参加申請アプリ、会計証憑共有アプリ</p> <p>（改修）稟議書アプリ、実施報告書アプリ、物品購入伺アプリ</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域との交流・貢献</p>	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人としての地域における公益的取組みを継続実施する <p>【実施計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生計困難者レスキュー事業の推進 ・災害時福祉避難所としての要配慮者の受け入れ準備（連携訓練等） ・職員の地域行事への協力・貢献活動の目標化 ・教育機関と連携した福祉教育の実施 	<p>《取り組み状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営協レスキュー事業への参加 ・職員が地域住民の一人として地域への貢献を促す社会貢献活動を進めた。80%以上の職員が地域の活動に関わり法人職員としての福祉意識を高めることにつながった。 ・太田原地区、木場地区および石田地区わいわいサロンからの依頼により、当施設において終活をテーマとした講座を開いた ・西彼農高での介護基礎講座を実施した

施設管理	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な資産管理と有効活用及び長寿命化に向けた保守点検の実施 <p>【実施計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保守点検実施体制の構築 施設、設備の長寿命化計画の策定検討 	<p>《取り組み状況》</p> <p>□法人</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな外国人実習生受入れのため、川内寮を改修し、2名居住可能な改修を行った <p>□GH・2GH</p> <ul style="list-style-type: none"> 照明器具をLED機器に交換。10年間で2施設合わせて786万円の節減効果を試算している
------	--	---

2. 会務報告

(1) 理事会

回	日時	出席者	議題	場所
1	令和6年 6月4日	理事：6名 監事：1名	<p>(報告事項)</p> <p>①理事長の職務執行状況報告について</p> <p>(決議事項)</p> <p>① 令和5年度事業報告の承認について</p> <p>② 令和5年度決算報告の承認について</p> <p>③ 評議員会に提出する後任監事候補者の選定について</p> <p>④ 令和6年度定時評議員会の招集について</p> <p>⑤ 屋外プレハブ冷凍倉庫用非常用発電機の設置工事契約について</p>	特別養護老人ホームふるさと
2	令和6年 6月22日	理事：6名 監事：2名	<p>(決議事項)</p> <p>①令和5年度第1次補正予算について</p> <p>(報告事項)</p> <p>①令和6年度定時評議員会の報告について</p>	ホテルオークラJRハウステンボス
3	令和6年 11月18日	理事：6名 監事：1名	<p>(報告事項)</p> <p>①長崎県介護DX化推進事業補助金の内示について</p> <p>(決議事項)</p> <p>①入札参加者の選定及び契約手続について</p> <p>②介護DX化推進事業に関連した機器の整備について</p> <p>③機器整備に伴う借入の承認について</p> <p>④評議員選任・解任委員会委員の選出について</p>	特別養護老人ホームふるさと ※一部オンライン出席

4	令和6年 11月29日	理事：5名 監事：2名	(決議事項) ①令和6年度第2次補正予算の承認について (報告事項) ①理事長の職務執行状況報告について	ホテルオー クラJ Rハウス テンボス
5	令和7年 3月26日	理事：4名 監事：1名	(報告事項) ①理事長の職務執行状況報告について (決議事項) ①令和6年度第3次補正予算の承認について ②令和7年度事業計画書案の決議について ③令和7年度予算案の決議について ④経理規程の一部改定の決議について ⑤処遇改善加算等に基づく給与処遇改善要領 の改定の決議について ⑥役員等賠償責任保険契約締結の決議につ いて	特別養護 老人ホーム ふるさと

(2) 評議員会

回	日時	出席者	議 題	場 所
定時	令和6年 6月22日	評議員：6名 理 事：6名 監 事：1名	(決議事項) ① 令和5年度決算の承認について ② 後任監事の選定について ③ 令和6年度役員報酬総額について (報告事項) ① 令和6年度事業報告について ② 令和7年度事業のうち重要な事項につ いて	特別養護 老人ホーム ふるさと

(3) 監事監査

回	日時	参加者	内 容	場 所
1	令和6年 5月23日から 5月28日まで	監事：1名 理事長 会計責任者	① 令和5年度計算書類 及び事業報告並びに これらの附属明細書 の監査	特別養護老人ホームふ るさと

3. 収支状況及び財産の状態の推移

事業活動収支及び貸借対照表

単位：千円

事業年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
前期繰越活動増減差額	367,686	395,586	406,806	391,148	413,535
当期活動収益合計	594,808	583,827	582,740	626,186	624,470
当期活動費用合計	568,772	568,358	596,497	582,051	626,457
当期活動増減差額	27,899	11,220	▲15,657	22,386	▲11,696
次期繰越活動増減差額	395,586	406,806	391,148	413,535	401,839
資産合計	1,323,276	1,319,313	1,227,225	1,200,520	1,191,350
負債合計	641,643	631,453	558,543	516,495	518,267
純資産合計	681,632	687,860	668,682	684,025	673,083

収益では、サービス活動収益で、前年比 99.7%と、1,715 千円の減収となった。これは、入院率の上昇に伴う稼働率の低下（前年比 98.9%）が要因である。

費用においては、人件費で、前年度未計上であった賞与引当金を、今年度は計上を行い、その計上分が 5,961 千円の費用増となった。事業費では、給食費が前年比 116.0%の 7,057 千円増加した。これは、物価高騰に加え、令和 6 年 3 月より本格的な稼働を開始したセントラルキッチンの先行仕入による食材料等のストックと使用消耗品の増加も要因と考えられる。同様に水道光熱費が前年比 116.0%の 3,981 千円増加した。今年度は、食材料費やエネルギー価格の高騰が、日常の運営に直結する支出を大きく膨らませた。主食である米のキロ単価も前年より約 2 倍（値上げによる負担増額：535,785 円／令和 6 年 6 月以降）となるなど、物価上昇の波は広範囲に及んでいる。

また、特養内の介護 DX 化推進のための設備整備、GH・2GH の省エネ化等を図る LED 照明への交換等、先行投資のため賃借料が 4,023 千円ほど増加している。

当期活動増減差額は、前期国庫補助金の取崩分との差額が 10,252 千円となり、大きな減収の要因となった。

※長崎県より介護 DX 化推進事業補助金 10,000 千円を受けるにあたり、特養内介護機器・設備の整備を先行実施するため、金融機関より 18,000 千円の借入を行った。来年度に補助金相当分である 10,000 千円の返済を予定している。

※詳細は別資料「計算書類」参照

4. 社会福祉法人制度改革への対応

改正社会福祉法（平成 29 年 4 月 1 日施行）に基づき下記対応をとった。

- (1) 情報開示：現況報告書及び、令和5年度財産目録、計算書類、役員名簿、役員報酬規程等について、6月末までに西海市に提出の上、ホームページで公表した。
- (2) 社会福祉充実残額の計算：「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」において公開された計算シートに沿って算定した結果、令和6年度社会福祉充実残額は「無し」であった。

5. 地域における公益的取り組みについて（法24条2項関係）

(1) ふるさとレスキュー事業（再掲）

- ・西彼・西海ブロックのCSW設置法人として、特養と当法人の居宅支援事業所管理者と連携し、生計困難者レスキュー事業を継続実施。地域の社会貢献事業実施施設として、公的機関との連携を行っている。
- ・2月27日に生活困難者レスキュー事業全大会に参加し、「レスキュー事業と連携した生活困窮者支援」の研修に参加した。同日、西彼・西海地区のブロック会議を開催し、サポーター法人の役割等を協議した。
- ・レスキュー事業対応として、生活困窮となり、就労までの公共料金や通信費、食料等の支援を1件対応した。

(2) 地域ケア会議

- ・3月13日に西海市地域ケア会議に参加し、西海市の地域包括ケアシステム構築の進捗、ケア会議の実践報告と地域課題について研修を行った。

6. 規程等の制定及び改定

- ① 経理規程の一部改定（第6条4項(1)の社会福祉事業区分より「事業所内保育所ふるさとキッズ」を削除する）

7. 行政による指導監査

(1) 西海市社会福祉法人一般監査

対象事業所：法人本部

日時：令和6年11月26日（火）9：30～17：15

訪問者：西海市こども家庭課 監査指導班 課員3名

実施結果：文書指摘等なし。口頭指導として、経理規程条文中に事業廃業したふるさとキッズの記載が残っていたため削除してくださいとの指導をいただき、当該部分の削除をした。また、国庫補助金の内訳に計上の誤りがあり（総額は一致）、今後十分気を付ける

ようにとのことであった。

(2) 西海市介護保険施設等運営指導

対象事業所：小規模多機能ホームふるさと

日 時：令和6年11月26日（火）9：30～12：45

訪問者：西海市こども家庭課 監査指導班 課員2名

実施結果：文書指摘及び口頭指導なし。以下の助言あり。

- ①運営規定／介護・看護職員数の実態と整合について
- ②重要事項説明書／サービス評価の公表表現について、「HP等で公表しています」という文章にした方が良いのでは。
- ③苦情受付窓口については、事業所内に第三者委員の連絡先を掲示を検討してはどうか。

(3) 長崎県老人福祉施設等指導監査

対象事業所：特別養護老人ホームふるさと

日 時：令和6年12月19日（木） 10：00～15：00

訪問者：長崎県福祉保健部 監査指導課 藤原勝浩氏、光崎邦生氏

実施結果：文書指摘等なし。以下の口頭指導あり。

- ①労働安全衛生体制について、衛生管理者の氏名を職員の見やすい場所に掲示する等により周知を行うこと。
- ②パートタイマー等の短時間勤務者の年次有給休暇について、就業規則に規定すること。
- ③経理規程第61条（注記事項）に「(15) 合併及び事業の譲渡若しくは事業の譲受け」の項目を追加し、計算書類に対する注記を整合させること。
- ④計算書類に係る付属明細書について、拠点区分ごとに作成が必要な付属明細書が作成されていない。該当があればすべて作成すること。
- ⑤経理規程第54条（現在高報告）で規定している固定資産の現在高について、毎年度確認の上、固定資産現在高報告書を作成し、会計責任者等へ報告を行うこと。
- ⑥調理室の室温について、夏季において25℃を超えている日が散見されるので、25℃以下になるよう努めること。

8. 防災・防犯対策

(1) 防災対策

- ・ ふるさと非常災害対策計画（BCP）の見直し（法人防災会議）

- ・ 各事業所災害対策訓練の実施
- (2) 防犯対策
- ・ 各事業所における防犯訓練の実施

9. 主な法人行事

行 事 名	日 付	参加等	備 考
令和6年度家族会総会 (上半期) ：特養ホール	4月21日	施設利用者家族 法人職員	令和5年度事業報告及び会計報告、令和6年度事業計画及び予算、役員改選他
ふるさとスプリングマルシェ	4月21日	施設利用者 施設利用者家族 法人職員	従来の夏祭りを変えて令和元年以来お祭りイベントを実施し、利用者ご家族、地域の方々等、約400名の来場があった。
令和6年度家族会総会 (下半期) ：特養研修室	9月16日	施設利用者家族 法人職員	令和5年度上半期事業及び会計報告、役員補充他
ふるさと敬老式典並びに敬老 演芸会 ：特養ホール	9月16日	施設利用者 法人職員	特養にて開催。後日ご家族へ動画配信も行った。
ふるさと忘年会 ：ホテルオークラJRハウス テンボス	11月29日	各事業所職員 法人役員等	職員と法人役員等との和やかな歓談、交流が行われた。
令和6年度地域連携防災協力 会議 ：特養ホール	12月5日	行政、消防、地 域消防団、警 察、地域の皆さ ん、法人職員	有事災害に備え、協力会議を実施した。西彼出張所より講話をいただいた。
クリスマスコンサート 中村明夫先生と長崎短期大学 吹奏楽研究室の皆さん ：特養ホール	12月14日	施設利用者 法人職員	クリスマスソング、懐メロ、流行りの曲の演奏に利用者の皆さんも楽しいひとときを過ごされた。

おゆうぎ訪問 瀬川こども園の園児の皆さん ：特養ホール	12月27日	施設利用者 法人職員	園児さんの可愛らしいおゆうぎに、ご利用者の皆さんも喜ばれていた。
-----------------------------------	--------	---------------	----------------------------------

10. 研修・教育

(1) 科学的自立支援介護訪問コンサルティング研修・ケアエキスパート養成研修

講師：(株)ポストヒューマンジャパン

自立支援介護実践・教育シニアコンサルタント 齋藤貴也氏

月 日	内 容	参加者	
		職 名	数
令和6年 4月18日	事業所訪問 ① 研修（認知症アセスメント・タイプ判定振返り・演習） ② 自立支援介護理論振返り ③ 事例検討（課題別ケアプラン作成演習） ④ 次回までの確認（常食化ケア理論） ⑤	全事業所 介護職他	16
5月10日	講義・演習 ケアエキスパート養成研修②（リモート研修） 水分ケア理論確認テストの解説 認知症アセスメント・タイプ別判定① 自立支援介護アセスメント・ケアプラン作成	全事業所 介護職他	10
6月14日	講義・演習 ケアエキスパート養成研修③（リモート研修） 歩行ケア理論確認テストの解説 認知症アセスメント・タイプ別判定 自立支援介護アセスメント・ケアプラン作成	全事業所 介護職他	11
6月20日	事業所訪問 ① 研修（認知症アセスメント・タイプ判定振返り・演習） ② 事例検討（課題別ケアプラン作成演習） 次回までの確認（常食化ケア理論）	全事業所 介護職他	16

7月12日	講義・演習 ケアエキスパート養成研修④（リモート研修） 排泄ケア理論確認テストの解説 認知症アセスメント・ タイプ別判定 事例検討（水分ケア）	全事業所	10
		介護職他	
8月9日	講義・演習 ケアエキスパート養成研修⑤（リモート研修） 常食化理論確認テストの解説 認知症アセスメント・タ イプ別判定 事例検討（水分ケア）	全事業所	9
		介護職他	
8月16.17日	自立支援介護エキスパート試験 合格者14名 事例発表試験・筆記試験・事例検討会	全事業所 介護職他	19
9月13日	講義・演習 ケアエキスパート養成研修⑥（リモート研修） 課題別ケアプラン作成 事例検討（歩行ケア）	全事業所 介護職他	10
10月11日	講義・演習 ケアエキスパート養成研修⑦（リモート研修） 課題別ケアプラン作成 歩行回復による認知症・排泄の 改善 事例検討（歩行ケア）	全事業所 介護職他	10
10月17日	事業所訪問 ① 各職域の事例検討・ケアマイスター試験の説明	全事業所 介護職他	11
11月6日	講義・演習 ケアエキスパート養成研修⑧（リモート研修） 課題別ケアプラン作成 事例検討 認知症ケア	全事業所 介護職他	9
12月13日	講義・演習 ケアエキスパート養成研修⑨（リモート研修） 課題別ケアプラン作成 事例検討 認知症ケア	全事業所 介護職他	9
12月23日	事業所訪問 事例ファシリテート研修	事業所 介護職他	12
令和7年 1月10日	講義・演習 ケアエキスパート養成研修⑩（リモート研修） 全ての事例課題様式を使用した事例検討会	事業所 介護職他	9

2月20日	事業所訪問 各事業所事例検討・ファシリテーション研修 歩行ケア 講義	事業所 介護職他	12
		延べ人数(名)	173

(2) 口腔ケア委員会・口腔ケアセミナー・確認試験 (Web研修・実地研修)

講師：(株)クロスケアデンタル ゼロプロ推進事業部

瀧内博也医師 口腔ケアチーフ 白川智子理学療法士

月 日	内 容	参加者	
		職 名	数
4月8日	口腔ケア委員会・研修会 OHAT内容のフィードバック(入院推移状況・口腔ケア実施状況・セミナー受講状況等について)	全職種	13
4月23日	口腔ケア初級セミナー確認試験 (西尾美香 平澤津しげみ 橋口藤枝)合格	介護職 看護職	3
5月7日	口腔ケア委員会・研修会 OHAT内容のフィードバック	全職種	12
5月22日	口腔ケア初級セミナー (川崎香代子 末岡明)	介護職	2
5月28日	口腔ケア初級確認試験 (太田弥宏:合格 下野憲吾)	介護職	2
6月10日	口腔ケア委員会・研修会 OHAT内容のフィードバック	全職種	12
6月11日	口腔ケア初級確認試験 (川崎香代子 南里末子)	介護職	2
6月19日	口腔ケア初級セミナー (仲間詩織 石川奈津美)	看護職	2
7月2日	口腔ケア上級セミナー確認試験 (松本流星 岩倉佳輔)	介護職	2
7月8日	口腔ケア委員会④ OHAT内容のフィードバック	全職種	8
7月18日	誤嚥性肺炎ゼロプロジェクト ゼロプロワールド2024 誤嚥性肺炎ゼロ達成 OHAT部門 確認試験部門 口腔ケア実績部門の評価発表	全事業所	5

7月23日	口腔ケア初級確認試験 (川口さゆり・仲間詩織・石川奈津子：合格 岩下須恵美)	看護職・介護職	4
8月8日	口腔ケア委員会⑤ OHAT 内容のフィードバック	全職種	14
8月20日	口腔ケア中級セミナー確認試験 (岩永勝 三岳真吾)	介護職	2
8月23日	ゼロプロアワード 食支援セミナー	全職種	4
9月9日	口腔ケア委員会⑥ OHAT 内容のフィードバック	全職種	11
9月24日	口腔ケア上級セミナー確認試験 (下野憲吾・下藺弘美・廣瀬美月：合格 山田みどり)	看護・介護職	4
10月8日	口腔ケア委員会⑦ OHAT 内容のフィードバック	全職種	12
10月18日	口腔ケア中級セミナー (平野律子 一瀬ひとみ)	介護職	2
11月11日	口腔ケア委員会⑧ OHAT のフィードバック	全職種	13
11月12日	口腔ケア中級セミナー確認試験 (平野律子 平松有沙 谷上拓弥 大石方也 野田光浩)	介護職	5
11月20日	口腔ケア初級セミナー (吉岡愛 坂本可南子)	介護職	2
12月2日	第9回ゼロプロカンファレンス ① 口腔衛生管理の基本サービス化について ② 誤嚥性肺炎が減るための指標 ③ NEXT ゼロプロ食支援の取り組みについて	理事長 次長	2
12月3日	口腔ケア初級セミナー確認試験 (坂本可南子・川崎香代子・末岡明：合格 吉岡愛)	介護職	4
12月9日	口腔ケア委員会⑨ OHAT のフィードバック	全職種	11
1月9日	口腔ケア委員会⑩ OHAT のフィードバック	全職種	13
1月21日	口腔ケア上級セミナー確認試験 (松本流星 岩倉佳輔 浦崎優 山崎香純)	介護職	4

1月23日	口腔ケア中級セミナー (太田賢太郎 末石順二 一瀬瞳 橋口藤枝 岩倉恵美子)	看護職・介護職 歯科衛生士	5
2月6日	口腔ケア委員会⑪ OHATのフィードバック	全職種	12
2月18日	口腔ケア初級セミナー確認試験 (山田みどり 三岳真吾)	介護職	2
2月26日	口腔ケア中級セミナー確認試験 (橋口藤枝 岩倉恵美子)	看護職 歯科衛生士	2
3月11日	口腔ケア委員会⑫ OHATのフィードバック	全職種	13
3月25日	口腔ケア中級セミナー確認試験 (岩倉恵美子：合格)	歯科衛生士	1
3月28日	口腔ケア上級セミナー(岩倉恵美子)	歯科衛生士	1
	委員会・研修回数 15回	延べ人数(名)	272
	セミナー・確認試験回数 18回	延べ人数(名)	49
	合格者 初級 11名 中級 3名		

(3) eラーニング(個別 Web 研修) 《法定研修、職種別・階級別研修》

株式会社メドレー

月 日	内 容	参加者	
		職 名	数
全事業所 全職員共通 16時間29分36秒			
6年4月	・倫理及び法令遵守に関する研修 39分23秒 ・自立支援介護(斉藤先生)水分ケア 31分13秒	全職員	104
5月	・介護現場で気をつけたいプライバシー保護 1時間22分13秒 ・自立支援介護(斉藤先生)歩行ケア 30分44秒		
6月	・身体拘束の排除・高齢者虐待防止に関する研修 50分56秒 ・自立支援介護(斉藤先生)排泄ケア 48分17秒		
7月	・感染症及び災害に係る業務計画のための研修 1時間36秒01秒 ・自立支援介護(斉藤先生)認知症ケア 40分56秒		
8月	・認知症及び認知症ケアに関する研修 1時間20分21秒 ・自立支援介護(斉藤先生)常食化ケア 28分00秒		

9月	・感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修 1時間9分9秒		
10月	・事故発生又は再発防止に関する研修 1時間11分20秒 ・ハラスメント研修(管理者・主任・リーダー・サブリーダー) 20分15秒 ・ハラスメント研修(一般職員) 23分37秒		
11月	・医療に関する教育、研修 53分08秒		
12月	・緊急時の対応に関する研修 42分		
7年1月	・ターミナルケアに関する研修 54分39秒		
2月	・介護予防及び要介護度進行予防に関する研修 57分23秒		
3月	・接遇に関する研修 1時間10分5秒		
新人 3時間47分56秒 介護職			
6年4月～ 7年3月	・新人研修①～社会人基礎スキル～ 35分01秒	介護職	4
	・新人研修②～電話対応・メール・来客対応～ 37分27秒		
	・新人研修③～チームでの仕事の進め方～ 30分40秒		
	・排泄・入浴・食事介助の基本 1時間40分53秒		
	・知って得する姿勢ケア①～正しい姿勢～ 38分10秒		
	・知って得する姿勢ケア②～利用者の力を活かす 41分01秒		
	・間接業務研修①～掃除～ 51分12秒		
	・間接業務研修②～洗濯・リネン交換・配茶～ 45分18秒		
	・メンタルヘルス研修①～ストレスとは～ 57分20秒		
	・メンタルヘルス研修②～ストレス対処法 1時間22分09秒		
・メンタルヘルス研修③～感情のコントロール～ 53分26秒			
褥瘡ケア 看護職 2時間13分49秒 特養			
6年4月～	・拘縮ケア研修 1時間2分37秒	看護職 介護職	38
7年3月	・褥瘡予防研修 1時間11分12秒		
経験者(中堅) 介護職 5時間43分19秒 全事業所			
6年4月～ 7年3月	・摂食・嚥下研修①～摂食・嚥下とは～ 50分13秒	介護職	4
	・摂食・嚥下研修②～訓練方法～ 57分01秒		
	・口腔ケア研修 42分02秒		
	・服薬介助研修 1時間25分24秒		
	・福祉用具の基本の「き」①～杖・歩行器・車椅子～ 56分35秒		
	・福祉用具の基本の「き」②～特殊寝台等～ 46分33秒		
	・ヒヤリハット研修①～ヒヤリハットとは～ 23分38秒		
	・ヒヤリハット研修②～シーン別注意点～ 41分53秒		
リーダー 1時間39分37秒 生活相談員 看護・厨房主任 全事業所 介護職管理者・リーダー			
6年4月～	・リーダーシップ研修 1時間20分13秒		22

7年3月	・クレーム対応研修 19分24秒	管理者 生活 相談員 訓練 指導員 介護 リーダー	
管理職 8時間44分2秒 主任・管理者・リーダー 全事業所			
6年4月～ 7年3月	・労務管理研修①～労務管理とは～ 42分14秒	管理者 生活 相談員 主任	18
	・労務管理研修②～就業規則・服務規律・勤怠～1時間1分25秒		
	・労務管理研修③～賃金・人材・健康～1時間17分5秒		
	・経営者向けトップマネジメント研修①～人～1時間7分47秒		
	・経営者向けトップマネジメント研修②～モノ・情報～46分16秒		
	・経営者向けトップマネジメント研修③～お金・コンプラ～43分		
	・経営者向けトップマネジメント研修④～リスクマネジメント・経営～53分28秒		
	・管理職の不安を業界リーダーが徹底解決！①～リーダーシップとは～44分22秒		
管理職の不安を業界リーダーが徹底解決！②～採用・チーム強化～ 1時間28分39秒			
生活相談員 1時間20分12秒 特養			
6年4月～ 7年3月	生活相談員向け研修	生活相談員	1
看護職員 3時間6分58秒 全事業所			
6年4月～ 7年3月	高齢者に多い疾患の基礎知識 1時間1分51秒	看護職	8
	喀痰吸引研修①～喀痰吸引とは～ 1時間01分51秒		
	喀痰吸引研修②～経管栄養とは～1時間03分16秒		
介護支援専門員 4時間5分19秒 全事業所			
6年4月～ 7年3月	現場で使えるケアプラン①～ケアプランとは～1時間24分53秒	ケアマネ	7
	現場で使えるケアプラン②～ケアプランの解説～1時間33分03秒		
	現場で使えるケアプラン③～課題整理総括表～1時間07分13秒		
リハビリ 59分18秒 全事業所			
6年4月～ 7年3月	・生活リハビリ研修 25分27秒	訓練指導員	1
	・機能訓練研修 33分51秒	介護職	
事務 1時間8分15秒			
6年4月～ 7年3月	・財務会計・事業経営 1時間8分15秒	事務長 事務 員	1
栄養士 調理員 1時間24分10秒 全事業所			

6年4月～ 7年3月	・調理師・栄養士との連携 23分1秒 ・衛生・準備 28分56秒 ・介護食形態加工 33分13秒	調理員	2
新任職員 3時間8分 全職種 全事業所			
6年4月～ 7年3月	理事長講義 新任職員研修（基礎概論 福祉 社会保障制度 法人組織概要）3時間8分	介護職 看護 職 歯科衛生 士 介護サポ ーター	9
11月1日 ～11月30 日	食事と口腔ケア研修 48分39秒	歯科衛生士	1
		延べ人数 (名)	219

(4) 施設内外研修 Web 研修含む

月 日	研 修 名	場 所	参 加 者	
			職 名	数
4月1日	令和6年度キックオフ 不参加者には後日動画で視聴	特養 理事長	全事業所職員	43
4月5日	ユニットリーダー研修プレゼン テーション	オンライン	特養介護職	1
4月10日	処遇改善セミナー（介人研）	オンライン	理事長・事務長	2
4月11日	FEAT リハ説明会	オンライン	次長 相談員 ケ アマネ 主任・リ ーダー	10
4月12日	ふくしの仕事就職フェア事前説 明会	オンライン	人事部長	1
4月16日	PHJ 影響言語による人の活かし 方講座 ヒヤリング	オンライン	主任・管理者以上	9
4月26日	PHJ 科学的介護による介護のブ ランド化	オンライン	地域密着型施設長 特養次長	2
5月9日	介人研会員勉強会	オンライン	理事長 地域密着 型施設長 特養次 長・事務長	4

5月13日	生産性向上推進体制加算を徹底理解	オンライン	次長	1
5月16日	PHJコンサルABA補講 1on1FM	PHJ 谷本社長	主任・管理者以上	16
5月20日	西海市施設連絡協議会研修会	西海市	地域密着型施設長 次長 GH・2 GH・サポセン管理者	5
5月21日	介護経営サミットセミナー	オンライン	理事長・事務長	2
5月22日	介護経営サミットセミナー	オンライン	理事長	1
5月23日	介護経営サミットセミナー	オンライン	理事長	1
5月24日	西海市ケアマネ協議会総会研修	西海市	居宅管理者	1
5月29日	科学的介護の実践研修（稼働率 安定化・収益向上）	オンライン	居宅・GH・2GH サポセン管理者 次長 生活相談員	6
6月4日	生産性向上推進加算勉強会	オンライン	理事長 次長 生 活相談 居宅・ GH・2GH・サポ セン管理者	9
6月5日	長崎合同企業面談会事前説明会	オンライン	人事部長	1
6月18日 6月25日	第4期KAIGOアンバサダー育成 研修会 ①②	オンライン	次長	2
6月19日	長崎県経営協6年度総会研修会	長崎市	理事長	1
6月25日	西海メディカルブリッジ	訪問看護ウエルビー	居宅管理者	1
6月26日	ケアプランデータ連携システム 活用研修	オンライン	居宅管理者	1
6月27日	CCJセミナー（厨房運営）	オンライン	理事長	1
6月28日	AED講習会	サポセン サニクリ ーン	GH・2GH・小規 模職員	12
	P'HJ金曜セミナー	リモート	理事長	1
7月3日	CareTEX福岡24展示会	福岡市	次長 事務長・介 護職・調理員	4
7月4日	令和6年度長崎県社会福祉青 年経営者会第1回総会	長崎市	次長	1
7月18日 7月25日 8月10日	介護支援専門員更新研修 全3回	オンライン	小規模ケアマネ	3

7月29日	ケアコネクトジャパンユーザー交流会	福岡市 特養マナハウス	生活相談員 看護主任 介護リーダー	3
7月28日	認知症 BPSD 消失ケア研究会 (自立介護支援介護学)	オンライン	次長 生活相談員 看護主任 ケアマネ 訓練指導員 2GH 管理者 リーダー 全事業所職員	8
8月3日～ 9月14日	介護職実務者研修 全7回	大瀬戸町海風荘	介護職3人	21
8月4日	傾聴セミナー(市包括)	西海市社協	理事長	1
8月25日	認知症 BPSD 消失ケア研究会 (自立介護支援介護学)	オンライン	次長 生活相談員 看護主任 ケアマネ 訓練指導員 2GH 管理者 リーダー	8
8月28日	2024年版介護人材採用の基本と応用	オンライン	人事部長	1
9月3日	長崎県経営協前期セミナー	長崎市	理事長・次長 事務長 GH 管理者	4
9月22日	認知症 BPSD 消失ケア研究会 (自立介護支援介護学)	オンライン	次長 生活相談員 リーダー 訓練指導員	5
9月25日	PHJ メンテナンス研修	特養	管理者・リーダー以上	24
9月29日	西海市福祉大会	大島町	全職種	5
9月30日	長崎県経営協青年会九州セミナー	長崎市	理事長・次長	2
10月1日	食形態への理解を深める栄養確保を安全に行う食形態のアセスメント方法	オンライン	生活相談員	1
10月3日	施設における ACP 研修取組推進研究会	西海市西彼保健センター	全職種	11
10月10日	識学セミナー(人事評価)	オンライン	理事長	1
10月17日	PCA セミナー(バックオフィス)	オンライン	理事長	1

10月20日	認知症BPSD (自立介護支援介護学)	オンライン	次長 看護主任 リーダー 訓練指 導員	5
10月30日	日本経営セミナー	オンライン	事務長	1
10月31日 ～11月1日	九州老人福祉施設職員研究大会	宮崎市	次長 小規模管理 者 介護職 ケア マネ	6
11月1日 11月15日 12月9日	介護生産性リーダー研修ロボッ ト活用コース 全3回	佐世保市	統括主任	3
11月20日 ～22日	第3回全老施協大会研究会 JS フェスティバル in 滋賀	滋賀県大津市	人事部長 次長	2
11月24日	認知症 BPSD 消失ケア研究会 (自立介護支援介護学)	オンライン	次長 生活相談員 2GH・小規模管理 者 リーダー	5
11月26日	次世代委員会セミナー「共に彩 る介護の魅力」県老施協	長崎市	介護職	1
12月10日	介護の魅力伝道師研修	西彼農業高校	次長 介護職	2
12月17日	介護DX推進事業研修会 (ながさき介護現場サポートセ ンター)	オンライン	全事業所：次長 事務長 管理者 相談員 介護職 看護職 ケアマネ	23
12月22日	認知症 BPSD 消失ケア研究会 (自立介護支援介護学)	オンライン	次長 2GH管理 者 リーダー	3
12月23日	介人研勉強会 介護事業におけ る次年度予算編成のポイント	オンライン	事務長	1
令和7年 1月13日	ハナスト レベルアップ研修 (音声入力記録ソフト)	オンライン	次長 生活相談員 介護職 看護職 機能訓練指導員	10
1月15日	経営情報マニュアル研修	オンライン	事務長	1
1月17日	ノーリフティング研修(ケアリ ンク熊本)	特養	次長 生活相談員 介護職 看護職	15
1月20日	国際医療福祉大学高橋教授講習 会(特養の危機)	オンライン	理事長 次長	2
1月26日	認知症 BPSD 消失ケア研究会 (自立介護支援学)	オンライン	2GH 管理者	1

1月28日	ハナスト レベルアップ研修 (音声入力記録ソフト)	特養	次長 生活相談員 介護職 看護職	8
1月29日	Z世代確保定着のための職場環境整備 (介人研)	オンライン	次長 相談員 事務長 看護主任 GH・2GH・サポ セン管理者	7
2月1日	生成AIスキル教育 (PHJ)	オンライン	理事長 事務長	2
2月5日	長崎県経営協セミナー (後期)	オンライン	理事長 次長 事務長	3
2月7日	ノーリフティング研修 (ケアリンク熊本)	特養	次長 相談員 介護職 看護職	12
2月8日	介護・福祉事業における組織構築の王道戦略 (介人研)	オンライン	人事部長 次長 相談員 ケアマネ サポセン管理者	6
2月10日	生産性向上委員会の進め方 (介人研)	オンライン	人事部長 次長 相談員 統括主任 GH2GH 管理者サ サポセンリーダー	7
2月13日	介護人事労務のポイント (2) 介人研	オンライン	事務長	1
2月14日	人材の採用定着のための組織づくりについて 心理的安全性の確保 対話組織づくりについて	オンライン	次長 相談員 事務長 特養リーダー GH・2GH・サポセン管理者	7
2月15日	西海市事業者グループ職場環境改善推進事業報告会	西海市総合福祉センター・オンライン	理事長 事務長 人事部長 事務長	8
2月25日	西海市施設協インスタグラムセミナー	西海市社協	理事長・相談員・職員	5
2月26日	経営協経営セミナー (高齢者)	オンライン	理事長	1
2月25～ 3月4日	西海市事業者グループ課題別セミナー 動画研修	オンライン	全職種	11
2月16日	認知症 BPSD 消失ケア研究会 (自立介護支援介護学)	オンライン	2GH 管理者 リ ーダー	2
2月19日	介護テクノロジー普及促進セミナー	オンライン	次長	1
2月27日	西海市 ACP 研修会	西海市	介護職	1
2月27日	FFG コミュニケーション講座	オンライン	事務長	1

3月5日	経営情報 提出方法セミナー	オンライン	事務長	1
3月5日～ 7日	社会福祉主事資格認定通信課程 秋季コース 第4回集合研修	神奈川県 中央福祉 学院	ユニットリーダー	1
3月8日	第1回介護人材フォーラム		次長	1
3月12日 3月19日	法人プリンシプル研修	特養	主任・管理者・リ ーダー以上	18
3月16日	科学的介護フォーラム 2025in 熊本	熊本市	理事長 理事 次長 リーダー	4
3月28日	介護人材戦略レポート共有ワー ク	特養	主任・管理者・リ ーダー以上	19
			延べ人数(名) 446	

(5) 資格取得（キャリア形成）支援

- ・介護職実務者研修 2名
- ・社会福祉主事任用資格取得研修 1名
- ・介護福祉士 1名
- ・介護支援専門員更新 1名

1 1. 助成・補助事業

- 令和5年度 西海市利用者負担軽減措置事業補助金
 - ・補助内容：特養利用者
 - ・補助金：247,999円
 - ・完了日：令和6年5月14日
- 令和5年度 佐世保市利用者負担軽減措置事業補助金
 - ・補助内容：特養利用者
 - ・補助金：161,000円
 - ・完了日：令和6年5月23日
- 長崎労働局 特定求職者雇用開発助成金
 - ・助成内容：グループホーム／1名（150,000円）
第2グループホーム／1名（150,000円）
 - ・助成金：300,000円
 - ・完了日：令和6年6月13日
- 長崎労働局 特定求職者雇用開発助成金
 - ・助成内容：第2グループホーム／1名（250,000円）
 - ・助成金：250,000円

- ・完了日：令和6年6月13日
- 長崎県 介護職員等処遇改善支援補助金
 - ・補助金：1,516,228円
 - ・完了日：令和6年10月31日
- 令和6年度 西海市介護人材確保対策事業補助金
 - ・補助内容：特養／2名（76,769円×2名）
 - ・補助金：153,538円
 - ・完了日：令和6年11月19日
- 令和5年度 長崎県地域医療介護総合確保基金事業（介護従事者の確保に関する事業（新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス事業所等のサービス提供体制確保事業））補助金
 - ・補助内容：グループホーム／施設内療養費
 - ・補助金：310,000円
 - ・完了日：令和6年11月27日
- 長崎労働局 特定求職者雇用開発助成金
 - ・助成内容：グループホーム／1名（150,000円）
第2グループホーム／1名（150,000円）
 - ・助成金：300,000円
 - ・完了日：令和6年12月26日
- 令和6年度西海市介護・障害福祉サービス施設等物価高騰緊急支援金
 - ・支援内容：特養／888,000円
グループホーム／199,800円
第2グループホーム／199,800円
小規模多機能ホーム／133,100円
サービス付シニアマンション／210,900円
居宅介護支援センター／25,900円
 - ・支援金：1,657,500円
 - ・完了日：令和7年3月6日
- 長崎労働局 特定求職者雇用開発助成金
 - ・助成内容：第2グループホーム／1名（250,000円）
 - ・助成金：250,000円
 - ・完了日：令和7年3月13日
- 令和6年度 長崎県介護 DX化推進補助金
 - ・補助内容：特養

- ・補助金：10,000,000円
- ・完了日：令和7年3月26日
- 令和6年度長崎県介護・障害福祉サービス施設等物価高騰緊急支援金
 - ・支援内容：特養／910,000円
 - 特養・ショートステイ／130,000円
 - グループホーム／234,000円
 - 第2グループホーム／234,000円
 - 小規模多機能ホーム／124,000円
 - 居宅介護支援センター／30,000円
 - ・支援金：1,662,000円
 - ・完了日：令和7年3月31日（未収金計上）

12. 職員採用・異動

施設・事業所	増				減			
	採用		異動		退職		異動	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
特 養	5	3	1	0	7	3	1	0
G H	1	0	0	0	0	1	0	0
第2 G H	0	1	1	1	0	0	1	0
サポセン	0	0	0	0	2	0	0	0
居 宅	0	0	0	0	0	0	0	0
計	6	4	2	0	9	4	2	0
総 計	10（新卒1）		2		13（定年1）		2	

職 種	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
介 護 職	4	1	2	0	8	1	1	2
看 護 職	0	2	0	0	0	2	0	0
ケ ア マ ネ	0	0	0	0	0	0	0	0
事務・調理員・雑務	2	1	0	0	1	1	0	0
アルバイト	0	6	0	0	0	4	0	0
そ の 他	病休10名、育休3名 介護休業1名 (内 復帰8名)							

○ 永年勤続表彰者 計 14名

勤続 20年2名 ※非常勤のためふるさと職員会より30,000円支給

15年5名 (特休4日 慰労金150,000円)

10年4名 (特休3日 慰労金60,000円)

※内一人非常勤のためふるさと職員会より10,000円支給

5年3名 (特休2日 慰労金30,000円)

○有給休暇取得率

昨年度の取得率は42.3% 一人12.1日の取得、3か年で8.8%増であったが、今年度は35.8%、一人10.5日取得で昨年より6.5%の減少となった

事業所	取得率 (%)
特別養護老人ホーム	36.6
グループホーム	24.7
第2グループふるさと	38.3
サポートセンター	34.3
居 宅	66.4
合 計	35.8 一人10.5日

(小数点第2位四捨五入)

以上

令和6年度事業報告「ふるさとレスキュー事業」

1. 事業概況

長崎県内の複数の社会福祉法人による社会貢献事業「生計困難者レスキュー事業」に参加し、生活困窮者に対する相談支援事業を実施した。

○レスキュー基金への拠出金：85,000円

県経営協役員としての活動

R7.2.27「生計困難者レスキュー事業 全体会議」（県経営協）

社会福祉協議会がレスキュー事業と連携した生活困窮者支援について、事例を通じた講義研修を行った。

西彼・西海ブロックにおける活動

R7.2.27 生計困難者レスキュー事業全体会議において、西彼・西海ブロック会議を実施し、レスキュー事業活動における現状の課題と解決策について協議を行った。また、今後の参加法人の拡充推進やサポーター法人について支援の輪を拡げるための話し合いを行った。

② 県経営協「レスキュー事業」実績（R5.4.1～R6.3.31）

～県内複数法人による公益的取り組みとして

○参加法人数：97法人

○レスキュー基金総額：19,110,918円

○支援実績（現物給付額）：7,578,984円（1件当たり平均支援額：22,967円）

○支援状況

・年間支援支払件数…330件

・昨年度と同様に行政や社協からの紹介が8割以上を占めているものの、包括や施設、事業所からの紹介が増加したことから、紹介機関が多様化しており、関係機関において、レスキュー事業の周知が進んでいることが考えられる。

2. 相談支援状況

(1) 直接対応した案件 1件

(2) 相談内容受付 0件

※相談支援状況としてはなかったが、西海地区の幹事法人からの電話相談にて、事例の対応等について共有を行った。

令和 6 年度事業報告

「特別養護老人ホームふるさと・短期入所生活介護」

1. 事業概況

令和 6 年度の入所者状況は、在籍率は 99.4%と昨年度と比べ、0.1%増となった。年間を通しての入院者総数は 1,531 人であり、昨年と比べ入院者数が 392 人増加した。一日平均の入院者数は 4.2 人で、年平均入所者数は 65.4 人。稼働率は、93.4%で昨年度に比べて 1.4%減少であった。年平均介護度は 3.9 と昨年度と変わらず推移。

退所者は 30 人で昨年より 1 名増加し、うち長期入院のための退所が 18 人、死亡退所が 10 人、死亡退所の中でも医療機関での死亡が 1 人、施設での看取りケアを 7 人実施している。また、今年度は在宅復帰が 1 名あった。利用者の在所期間は 2 年 2 カ月であり、10 年前の平均在所期間は 3 年であったが、2021 年度は 2 年 10 カ月、2022 年度は 2 年 7 カ月、2023 年度は 2 年 4 カ月で年々入所期間が短くなってきている。6 年度は、入院者数、入院日数も前年に比べ、増加した。

短期入所利用状況については、5 月から 7 月は定期的に利用されていた利用者の他事業所への入所や入院の影響で稼働率に影響が出たと考えられる。また、一日平均 8.8 人。昨年より 1.3 人増加し、年間の稼働率は 88.1%で昨年より 13.5%増加となった。

昨年度に引き続き自立支援介護の研修では外部講師を招き、各職域の事例をもとに取り組み状況と課題の整理を行い、利用者の身体的再自立へ向けた取り組みを継続した。ユニットのサブリーダークラスにはケアエキスパート養成研修を受講し、自立支援介護の 4 つの基本ケアと認知症のタイプ別判定についての理論を学び理解を深めた。主任・リーダークラスでは次のステップであるケアマイスター研修を受講し、自立支援介護を指導できるステップアップの研修を受講している。

また、「口腔ケアゼロプロジェクト」においても、毎月の委員会開催、セミナー受講、確認試験の受講を通じて、職員の口腔ケア技術の習得に努めるとともに、肺炎による入院を減らすことを目標に取り組みを推進した。その結果、OHAT スコアや口腔ケアの実施回数は一定の安定をみせたものの、肺炎による入院が増加する傾向がみられました。この要因については引き続き分析が必要であり、職員一人ひとりのケア技術が標準的かつ確実なもので

あるか、また独自のやり方に偏っていないかについての検証が求められる。次年度は、これらの課題をふまえ、さらなる技術の標準化と質の向上が課題となる。

令和6年度の「介護DX化推進補助事業」を活用し、配膳ロボット、走行リフト、入浴用リフト、音声入力機能付きインカムを導入。本事業は県内で2事業所のみが採択されており、当施設はその一つとして、県内モデル事業の役割を担い、今後もこうした介護テクノロジーの活用を通じて、業務の効率化や生産性の向上を図るとともに、職員がより働きやすい職場環境の整備を進めている。

今年度の介護報酬改定を受け、医療ニーズの高まりに対応するため、主治医および協力医との連携体制を強化した。日々の健康管理や緊急時対応、看取り期における支援体制の充実を目的とし、定期的な情報共有や連絡体制の見直しを進めている。今後も、医療と介護の連携を深めることで、利用者一人ひとりに寄り添った切れ目のない支援を提供していく。

地域貢献事業として、西彼農業高校での「福祉のしごと基礎講座」を実施し、西海市の高齢者福祉や介護テクノロジーを活用した介護現場の状況について講義を行った。

2. 特別養護老人ホームふるさと利用状況

(1) 延入所者数状況（満床数 25,550 人）

延入所者数は 25,405 人 稼働率は 93.4% うち、延入院者数は 1,531 人で一日 4.2 人、延実利用者数は 23,874 人で平均入所者数 65.4 人

年月日	延入所者数 (在籍者)	延入院者数	延実利用者数 (在籍者－入院者)	対前年比
令和 6 年 4 月	2,098	104	1,994	
令和 6 年 5 月	2,153	177	1,976	
令和 6 年 6 月	2,080	93	1,987	
令和 6 年 7 月	2,160	99	2,061	
令和 6 年 8 月	2,159	98	2,061	
令和 6 年 9 月	2,083	102	1,981	
令和 6 年 10 月	2,164	92	2,072	
令和 6 年 11 月	2,085	185	1,900	
令和 6 年 12 月	2,160	134	2,026	
令和 7 年 1 月	2,163	87	2,076	
令和 7 年 2 月	1,951	69	1,882	
令和 7 年 3 月	2,149	291	1,858	
合 計	25,405	1,531	23,874	
令和 6 年度	稼働率 93.4%	一日平均 4.2 人	平均入所者数 65.4 人	98.5%

(小数点第 2 位四捨五入)

(2) 月別入退所者数の状況

年間入所者数 25 人 (在宅 15 名 施設 5 名 医療機関 5 名)
退所者数 30 人の内、死亡退所が 18 人 (施設での死亡 12 人うち看取り
ケア実施が 12 人、医療機関での死亡 6 人)
長期入院のための退所が 9 人 多施設への転所が 1 名 在宅復帰 2 名

年月日	一日現在 入所者数	月内の異動		平均介護度
		入所	退所	
令和6年4月	70	1	2	3.8
令和6年5月	69	3	2	3.8
令和6年6月	70	3	4	3.9
令和6年7月	69	2	1	3.8
令和6年8月	70	2	3	3.8
令和6年9月	70	3	2	3.9
令和6年10月	70	1	2	3.9
令和6年11月	69	2	1	3.9
令和6年12月	70	2	3	3.9
令和7年1月	69	2	2	3.9
令和7年2月	69	2	2	3.9
令和7年3月	69	2	6	3.9
合計		25	30	3.9

(3) 入所申し込みについて

- 令和6年度末での入所待機者数 31 人
内、介護保険施設等に入所中 13 人 医療機関入院中 11 人
在宅生活 7 人

3. 短期入所生活介護利用状況

延利用者数

介護度別	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	稼働率
令和 6 年 4 月	9	0	17	37	111	66	51	291	97.0
令和 6 年 5 月	0	0	20	35	105	57	7	224	72.3
令和 6 年 6 月	0	0	25	16	78	65	30	214	71.3
令和 6 年 7 月	3	0	16	36	59	91	33	238	76.8
令和 6 年 8 月	0	5	9	56	103	37	72	282	91.0
令和 6 年 9 月	0	0	25	80	120	11	26	262	86.7
令和 6 年 10 月	3	0	17	76	119	51	31	297	95.8
令和 6 年 11 月	3	0	20	70	101	104	25	323	107.7
令和 6 年 12 月	3	3	21	76	120	98	0	321	103.5
令和 7 年 1 月	9	3	20	62	89	73	0	256	82.6
令和 7 年 2 月	0	5	36	52	89	45	12	239	85.4
令和 7 年 3 月	0	6	31	56	104	61	11	269	86.8
合 計	30	22	257	652	1198	759	298	3,216	88.1
令和 6 年度	延利用者数		3,216	一日平均利用者数		8.8 人	稼働率		88.1%

(小数点第 2 位四捨五入)

※ 令和 6 年度延利用者数状況 (満床数 3,650 人)

年間延べ利用者数は 3,216 人で、一日平均 8.8 人で年稼働率は 88.1%である。平均介護度は 2.7。

4.分野別重点計画振り返り

	重点取り組み方針	取り組み状況と課題
自立支援介護型介護の実現	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自立支援介護プラン実施100% <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> フロア全体としての取り組みを前進させるために、フロア会議を月1回開催し、個別の事例検討と認知症ケアタイプ別判定の事例検討を行う 毎月の主任リーダー会議で自立支援介護の取り組み状況について数値をもって確認する 新規入所時は速やかに情報収集を行い2週間以内に課題別ケアプランを立案する 自立支援介護のケアエキスパートに10名合格する 下剤使用の減量をケア会議、フロアミーティングで確認し、基本ケアを確認する 日常のケアとして歩行訓練を位置づけ、課題別ケアプランに沿った歩行ケアの提供 <p>【目標】</p> <p>科学的介護アウトカム評価100%</p> <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> アウトカム（成果）を毎月数値で評価し、実施しているケアの位置を確認しながら全職員で自立支援介護を管理する 認知症ケアのタイプ別判定によるケアの方向性を見出し、症状の改善につなげていく 	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ケアエキスパート12名合格と、目標（10名）を上回る成果を達成。 ケア会議にて下剤減量、水分・歩行ケアの実施状況を確認し、基本ケアの再確認を実施。 自立支援に関する水分・歩行・常食化・下剤使用数の数値を毎月記録・評価する体制が継続的に実施された。 歩行訓練を日常ケアに位置づけ、便秘改善に向けたケア（歩行・水分）についても進捗を確認した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> フロア会議の開催が滞り、事例検討や認知症ケアタイプ別判定の周知・共有が不十分であった。 新規入所時の課題別ケアプランの作成が遅延し、速やかな介入ができない事例があった。 職員一人ひとりへの取り組み内容の周知や意識の統一が不足していた。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月の数値を集計し、フロアごとの進捗を主任リーダー会議で共有する ・ 便秘改善のための補助食品や献立をケア会議と給食委員会にて検討する ・ 低栄養利用者を定期採血で把握し、体重の増減を確認し補助食品で栄養強化を図る ・ OHAT 評価をもとに、利用者ごとの口腔清掃が必要か、マッサージが必要かの分析を行い、口腔ケアを実施する ・ 利用者ごとに FEAT リハを週 1 回実施し、食事に関する身体機能の向上を図る 	
--	---	--

<p>収益性の向上と安定の確保</p>	<p>【目標】 稼働率 98%</p> <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔ケア確認試験やセミナーを職員全員が受講し、口腔ケアの再確認を行う ・ 入所可能待機者を常時 2 名以上確保し、空室をできるだけ少なくする ・ 退院した利用者及び新規入所者については ADL 情報等を整理し、入所 1 週間以内にリスク評価を行う ・ ミーティングで健康指標を使用し、体調観察が必要な利用者について検討する ・ 口腔ケアの手法が独自の方法にならないように、yorisoi の動画を見ながら復習する <p>【目標】 加算取得率 100%</p> <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ADL維持等加算 60 単位/月 ・ 排泄支援加算 20 単位/月 ・ 退所時情報提供加算 250 単位/回 ・ 退所時栄養情報連携加算 70 単位/回 ・ 生産性向上推進体制加算（I）100 単位/月 （ショート） ・ 口腔連携強化加算 50 単位/回 算定要件を確認し、届出の準備 	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔ケアセミナーおよび確認試験を職員全員が受講し、ケア技術の再確認を実施。技術の標準化とケアの質向上を図った。 ・ 入所希望者のリストアップと確保に努め、常時 2 名以上の待機者を維持するよう調整した。 ・ 退院利用者や新規入所者の ADL 情報を整理し、リスク評価の体制を整備。 ・ 健康指標を活用したミーティングを実施し、体調観察が必要な利用者の検討を行った。 ・ yorisoi の口腔ケア動画を活用し、職員一人ひとりが基本手技の確認を継続した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔ケアの確認試験の合格率が低調であり、一部職員による独自のケア手法が懸念される。技術の統一化に向け、継続的な研修と再確認が必要。 ・ 入退所の頻度が高く、常時 2 名の待機者確保が実質的に困難な状況。空室の発生を最小限に抑えるには、定期的な入所検討委員会の開催と、入所候補者への迅速なアプローチが求められる。 ・ 入所、退院直後の初期リスク評価の遅れが見られた。リスク評価を月単位ではなく、入所 1 週間以内の初期対応として定着させる必要がある。 ・ 健康指標は活用されているものの、具体的なケア内容への結びつきが弱い。個別の症状に対して、どのようなケアが有効かの検討と記録体制の強化が求められる。
---------------------	---	--

<p>権利擁護の完全実施</p>	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不適切ケアゼロ <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待の芽チェックリストを3か月に1回実施し、分析とフィードバックを行う（生活相談員） ・ミーティングで不適切と思われるようなケアの該当がないか職員間で声をかける（主任、リーダー） ・不適切ケア防止のため、職員通用口に「介護の良心シート」投函箱を設置し、利用者へのケア方法や職員間での気づきを早急に対応できる体制を継続し、内容については主任会議及び主任リーダー会議にて共有し職業倫理観を高めていく <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者自己実現願望達成100% <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入所時には「希望やできるようになりたいこと」などの聞き取りを行い、ケア会議で共有する（介護職） ・利用者自己実現目標の達成に向けた計画進捗をケア会議で確認する（主任、相談員） 	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「虐待の芽チェックリスト」は計画通り実施できており、内容の分析とミーティングでのフィードバックも行われた。これにより、不適切ケアの芽を早期に捉える意識づけがなされている。 ・ミーティング等における職員間の声かけについても、ケア内容の確認を通じて、不適切と感じられる対応への注意喚起を行う体制が継続されている。 ・「介護の良心シート」については設置を継続したが、実際の投函がなかった。仕組みが浸透していない現状が明らかとなった。 ・利用者自己実現目標について、3名の利用者が自宅へ在宅復帰された。その他も外出などの希望要望に応えることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不適切ケアについての「チェックリスト」や「声かけ」は実施されているものの、気づいたことを具体的な改善につなげるための共通認識や情報の共有が課題となる。 ・「良心シート」は少しの気づきでも書けるように気軽に使える仕掛けの導入が求められる。
------------------	--	--

<p>リスクマネジメント</p>	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故発生改善率 <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事事故例ごとの事故防止対策を当日または次日までに立て、実施しフロア全体にミーティングで周知する（フロア全体で周知が行き渡るように） <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスク評価改善率 <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月のリスク評価を実施し、利用者ごとに評価点をモニタリングする（主任、リーダー） <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トルト評価改善率 <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月動画をアップし、フィードバックを確認する（主任、リーダー） <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症訓練実施率 <p>【実施計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症訓練実施計画を4月中に作成し、実施する ・感染対策委員会にて指針の整備を行う（看護師） ・感染症対策委員会にて各フロア担当者と感染物品を点検、補充する。毎月の委員会日に各フロア担当で点検を行う 	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故防止対策の立案は行われており、該当フロアでは周知が図られ、月1回のリスク評価は継続実施されている。 ・トルトは継続的な評価ができており、歩行状態の可視化や家族・CMへの情報提供にも活用されている。感染症対策委員会を通じて指針整備や物品管理も実施済み。感染症に対する訓練実施は計画に基づき、実施している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全職員への情報共有が不十分で、対策の明確化と周知の確認体制が必要。 ・リスク評価点の変動に基づく対応策やケア内容の見直しが行われていない。モニタリング結果を具体的なケアへ活かす仕組みづくりが必要。 ・感染対策訓練内容の振り返りや実効性の検証が弱く、実際の対応にどこまで活かされているかが不明瞭。訓練結果の分析や改善点の明確化が必要。
------------------	---	---

<p>災害発生時における事業継続体制構築</p>	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害訓練実施100% <p>【実施計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間計画書の作成（3月法人防災会議までに提出） ・年間計画書を基に3月末までに令和6年度の毎月の訓練日をGaroonスケジュールに入力し予定日に向けて詳細な計画を立てていく ・年に1回各事業所合同での災害訓練実施 ・毎月防災委員会を開催し訓練の周知や防災教育等実施する 	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間計画に沿って訓練を実施。 ・毎月の訓練を実施している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業所合同での災害訓練の実施まではできず、他事業所と連携した訓練計画を立てる。
<p>人材の確保・育成・定着</p>	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離職職員ゼロ <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FBMを通して部下とコミュニケーションを図り、業務内容の確認と心身の不調の早期発見 ・ノーリフトケアの実践にて身体的負担の軽減を図る <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修受講100% <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FBMで受講状況を確認する 	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FBMのスケジュールができず、実施も低調となった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FBMが組織の根幹であることの重要性を主任とリーダーが再認識し上司と部下、職域内で心理的安全性が確保された職場を目指す。

<p>組織 マネジ メント</p>	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己点検シート適合率100% <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半期ごとに自己点検シートを確認する <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・lon1 フィードバック・ミーティング100%実施 <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1日にスケジュール計画を立て、スケジュールを共有する <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経理事故ゼロ <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルールに従って業務を行なう <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稟議決裁プロセスの遵守 <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5日前までの稟議書提出と7日後までの実施報告書の提出 <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設管理・点検完全実施 <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回の施設設備点検の実施 	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FBM のスケジュールができず、実施も低調となった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FBM が組織の根幹であることの重要性を主任とリーダーが再認識し上司と部下、職域内で心理的安全性が確保された職場を目指す。
---------------------------	---	--

地域の 公益的 取り組 み	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人地公取への参加、協力又は地元地域行事への協力活動(出席義務以外) <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事や催し物の情報収集を行う(5月まで) ・個人的に参加可能な行事を検討し、標的行動として立てる 	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の公益的取り組みへの参加を職員一人ひとりが考え、申請をすることで、社会福祉法人の職員として地域や各関係機関との連携を図っている。参加されていない職員には地域貢献についてのレポートを提出している <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざし、福祉の専門性を活かして、地域住民や関係機関と連携して課題を見つけていく
------------------------	---	---

5. 会議・委員会開催状況

(1) 主任リーダー会議	12回
(2) フロア・ユニット会議	56回
(3) 入所検討委員会	111回
(4) 事故防止・事故事例検討会	12回
(5) 衛生委員会	12回
(6) 法人苦情解決委員会	1回
(7) 感染対策委員会	12回
(8) 身体拘束等適正化検討委員会	12回
(9) 広報委員会(法人合同)	4回
ふるさと便り 187号~189号	3回(発行) ※4事業所合同
(10) ケアカンファレンス	12回
(12) 褥瘡防止委員会	4回
(13) 給食委員会	10回
(14) 防災委員会(法人防火管理者会議)	11回
(15) 法人事業所連絡会議	12回
(16) 医療連携会議 (長崎セント・ノーヴァ病院)	

6. 施設内研修

- ・eラーニングでの動画研修と、各委員会や職域にて研修会を実施した。
- ・感染症対策訓練については、各フロアにてPPEの着脱訓練、ゾーニング対応訓練、ノロウイルス感染症発生時の対応訓練等を看護職員が指導しながら実施した。
- ・緊急対応訓練については、ご利用者の急変時の対応（初動対応や書道の情報収集、看護師への報告）などについて、職員一人一人のスキルアップを目的に研修計画を立て、計画に沿ってフロアにて研修を行い、参加できなかった職員に関しては、書面での閲覧研修を行い、不明な点については、随時看護職より助言・指導を行った。

【業務改善支援に係る研修状況】

・「介護DX化推進事業研修会」

令和6年12月17日（火）18：30～19：30（参加者：23名）

ながさき介護現場サポートセンターより、現在の介護業界を取り巻く環境から、働きやすい職場や人材確保できる施設になるため、介護テクノロジー導入を推進する目的などについて講義を受講した。

・「ノーリフティングケア研修」

令和7年1月17日（金）14：00～16：30（参加者：15名）

令和7年2月7日（金）14：00～16：30（参加者12名）

県外から外部講師を招き介護職員を中心に「ノーリフティング」について講義・実習形式にて研修を実施。

ノーリフティングケアの必要性と効果、腰痛になりやすい姿勢など学習し、実技では今回導入した入浴リフトや床走行リフトを活用した移乗方法と身体の使い方について習得した。

・「ハナストレベルアップ研修」

令和7年1月13日（火）15：00～16：00（参加者：10名）

令和7年1月28日（火）13：00～16：30（参加者：8名）

音声入力記録ソフト「ハナスト」の活用について現状把握を行い、現状での課題を抽出し、介護記録の効率化について介護職と看護職、生活相談員、機能訓練指導員等と協議を行った。記録ソフト「ケアカルテ」のカスタマイズを行い、ハナストでの音声入力を推進する検討を行った。

7. 福利厚生・労務管理

(1) 健康診断

- ・雇入れ時、5月に全職員、10月夜勤職員を対象に実施。
診断結果について、産業医の所見を基に衛生管理者による全職員に対しての細やかな個別面談と衛生教育を実施した。
治療が必要な職員の継続指導を実施している。

(2) ストレスチェック制度

- ・労働安全衛生法第66条規程に基づき、産業医の管理指導のもと、全職員のメンタル面の不調者を未然に防止を目的とした、心理的な負担の程度を把握するため日本マネジメントリサーチに委託し実施。結果については個人面談等を行い、職場環境の診断と改善についての課題を検討した。

8. 感染症予防対策

毎週木曜日に西彼保健所から最新の感染発症動向調査を法人の情報共有ツール「Garoon」にて周知し、感染症状況について情報収集に努めた。
また、嘱託医指導管理の下、感染対策委員会での周知、予防対策、労務管理に努めた。

(1) 健康診断・美化衛生

- ・10月29日に長崎健康事業団による全利用者の結核健康診断を実施
- ・毎月の業者による害虫駆除を実施した。

(2) 感染症予防対策

- ・11月に利用者及び職員のインフルエンザ予防接種を実施した。
- ・ご利用者への面会については、ホームページにおいて公表し、現在のふるさとの感染警戒クラスを表示し、ご家族及び取引業者については入館チェックシートの記入、検温測定、手指消毒の徹底を継続して行っている。

9. 誤嚥性肺炎ゼロプロジェクト

- ・クロスケアデンタルと連携し、「誤嚥性肺炎ゼロプロジェクト」を継続して行い、誤嚥性肺炎の予防につながる口腔ケアの知識について、定期的にセミナーを受講し、スキルアップ及び利用者の口腔内の状態の観察に努めている。今年度は、初級確認試験に9名、中級確認試験に3名合格し、上級確認試験については、合格者0名となっている。

- ・毎月1回の口腔ケア委員会をリモートで開催し、毎月のOHAT評価（オンライン含む）の結果を基に実施状況の課題や対応について協議し、全職域で共有している。
- ・九社連老人福祉施設協議会職員研究大会にて「週2回の口腔ケアで肺炎予防」をテーマに事例発表し優秀賞を受賞し、第3回全国老人福祉施設大会・研究会議においては、奨励賞を受賞した。

10. 防災対策

(1) 防災訓練

- ・避難訓練3回（夜間想定訓練も含む）

防災教育

3月に管理者・リーダーを中心に地震発生時の初動対応について講義を実施。また、eラーニングでの防災教育を実施

- ・総合訓練1回（11月15日）
- ・消防立ち入り検査（7月18日）
書類確認と施設の消防設備点検実施。指摘事項なし。
- ・消防設備点検（9月13日）
- ・地域連携協力会議（12月5日）

法人ふるさと地域連携協力会議を開催。行政より西海副市長、防災基地対策課、長寿介護課、消防署より佐世保東消防署西彼出張所、川内地区消防団、地域行政区長及び民生委員等、他施設職員等で防災対策会議を開催。佐世保東西彼出張所より、防災についての講話を受講し、各事業所防火管理者からは、施設の防災設備、利用者の状況、防災訓練の年間計画等について説明し、意見交換を行うとともに非常事態時の協力要請を行った。

(2) 防犯対策

- ・防犯訓練（8月）

手順書を基に不審者侵入時の対応やさすまたを使用した訓練を実施。

11. 長崎県運営指導

12月19日に長崎県監査指導課より老人福祉施設等指導監査を実施。口頭による指導数点あり。文書指摘なし。

1 2. 地域貢献

(1) レスキュー事業

- ・西彼・西海ブロックのCSW 設置法人として特養と当法人の居宅支援事業所管理者と連携し生計困難者レスキュー事業を継続実施。地域の社会貢献事業実施施設として、公的機関との連携を行っている。
- ・2月27日に生計困難者レスキュー事業全大会に参加し、「レスキュー事業と連携した生活困窮者支援」の研修に参加した。
また。同日に西彼・西海地区のブロック会議を開催し、サポーター法人の役割等を協議した。
- ・レスキュー事業対応として、生活困窮となり就労までの公共料金や通信費、食料等の支援を1件対応した。

(2) 地域ケア会議

- ・3月13日 西海市地域ケア会議に参加し、西海市の地域包括ケアシステム構築の進捗、ケア会議の実践報告と地域課題について研修を行った。

1 3. 実習生・研修受け入れ

(1) 施設視察受け入れ

- ・5月17日 社会福祉法人白寿会 3名
- ・8月6日 社会福祉法人さゆり会・社会福祉法人ながよ光彩会 7名
- ・9月23日 社会福祉法人白寿会 12名
- ・10月16日 社会福祉法人清和会 7名
- ・11月14日 社会福祉法人ときわ会 4名
- ・2月21日 社会福祉法人愛光園 3名

(2) インターンシップ受け入れ

- ・7月25日 西彼農業高等学校 藤田こはく氏
- ・8月20日 西彼農業高等学校 小出碧空氏

1 4. 行事

(1) 4月21日 ふるさとスプリングマルシェ

(2) 9月16日 ふるさと敬老会 来賓27名 利用者家族30名
利用者51名参加

(3) 7月6日・12月21日 三菱労組清掃ボランティア

(4) 12月14日 クリスマスコンサート（長崎短期大学中村先生他）

(5) 誕生会毎月各フロアにて実施

(6) レクリエーション

各フロアにて実施し、季節のメニューに応じた食事会（お楽しみ献立）や、調理レク（おやつ作り）園芸、誕生会、茶話会等を実施した。

また、特養の全体行事として、輪投げ大会やおやつバイキングを実施した。

令和6年度事業報告「居宅介護支援センターふるさと」

1. 事業概況

地域包括ケアシステムの推進にあわせ、居宅介護支援事業所として、住み慣れた地域で暮らす要支援・要介護者に対して、在宅にて自立した生活が継続できるようにケアマネ二人体制を取りケアプランを作成し、サービス展開を実施している。

また、社会福祉法人の地域貢献事業として、福祉事業や介護保険制度への疑問や超高齢化社会に伴う「認知症の増加」や介護教室での「終活について(ACP)」等について6月・7月に地域へ出向き、本人・家族の意思の尊重し人生の最期に向けてどのような生活で、本人・家族の満足度を高め自立した生活への準備を皆さんと一緒に検討した。

また、包括支援センターで開催の自立支援型地域ケア会議へは毎回参加し、居宅で支援を実施している利用者の事例提供を行い、関わる全ての関係者で地域連携についても協議を実施し、住み慣れた地域で自立して生活が出来るように支援を実施した。さらに、今年度も生活困難者レスキュー事業へ取り組みを特養次長と一緒に実施した。

また、法人役員として地域密着型事業所の施設長として、「身体拘束に繋がる不適切ケア」と「虐待」一掃を目的とした「認知症の理解と対応」について指導・指示を行っている。さらに、災害時事業継続計画(BCP)の作成(居宅利用者避難計画)と感染症対策(BCP)の作成と見直しも実施し、西海市個別避難計画に添って地域関係者と連携し要援護者が速やかに避難し生活が出来るように整備も行う。

2. 利用状況

月 別	介護予防利用者	介護支援利用者	計
R06・4月	8人	61人	69人
5月	8人	61人	69人
6月	8人	56人	64人
7月	8人	58人	66人
8月	7人	61人	68人
9月	7人	60人	67人
10月	7人	63人	69人
11月	6人	67人	73人
12月	6人	63人	69人
R07・1月	6人	62人	68人
2月	0人	58人	58人
3月	0人	38人	38人
合 計	71人	708人	779人

※ 月平均 介護 708 人÷12 ヶ月=57 人

予防 71 人÷12 ヶ月= 5.9 人

計 813 人÷12 ヶ月=64.9 人

※ 登録者は昨年度（813 人）と比べ 4%減となった。職員の病気療養に伴いケアマネの一人当たり支援者数を越えての支援は困難・減算対象となる為に、市内の事業所ケアマネへ利用者支援を依頼した事もあり 2・3 月より件数が減少した事が要因。利用者については、在宅での支援が困難になった場合に、利用者の状況を専門職と連携を行い検討し、病院・施設への紹介を行っているので、利用者の変動がある。

3. 活動状況

(1) 介護認定訪問調査

本年度は、長崎市からの西海市内の施設入所者へ対しての調査があり 4 件・諫早市より 1 件の合計 5 件の調査を実施した。

・令和 6 年度介護認定訪問調査員現任研修 2 月 20 日受講

介護認定審査会

令和 6 年度も西海市介護認定審査会へ福祉専門職として認定審査委員実施。年 6 ヶ月審査会へ出席し事業所でのリモート審査会（7 月より 9 月まで 1 月から 3 月まで）

(2) 地域住民への介護教室

地域の「わいわいサロン」への参加要請があり、法人地域交流スペースを活用しての「介護教室」として、「終活と ACP(アドバンスケアプランニング)」について講義を実施後に参加者皆さんで、ご自身がどのような人生を希望されるかの話し合いを実施。

高齢者独居世帯・高齢夫婦世帯が多い地域で、暮らしを継続し地域で助け合いながら生活する中でのご本人の希望に沿った、医療・介護について、今後も地域へ出かけて皆さんと一緒に暮らしを支える話し合いの希望が地域からも依頼があっているため、実施していきたい。(6/18 木場地区 7/18 石田地区 7/24 太田原地区)

(3) 地域ケア会議

包括支援センター主催の自立支援型個別地域ケア会議へ毎月第 2 火曜日に参加し、介護・予防利用者・地域情報等での意見交換はその都度地域包括支援センター担当者や専門職と連携を行う。自立支援型地域ケア会議の全体会議はオンラインで開催され参加し、多職種連携・地域の情報収集が出来た。

(4) 施設外研修会について

・県ケアマネ協研究大会・総会 6 月

- ・医療・介護の連携勉強会 5月 10月 12月
- ・西彼保健所研修会 7月 12月
- ・老人福祉施設協議会研修
- ・経営者協議会研修会
- ・西海市ケアマネ協役員会・総会・学習会 5月 9月
- ・介護報酬改定説明会等のリモート研修

(5) 法人事業所内研修

コンサルティング研修会	3回
自立支援介護実践研修	8回
法人事業所連絡会議 法人防災会議	12回
地域密着型全体会議 各施設にて	12回
法人経営会議 毎週月曜日開催	
地域密着型管理者会議 毎週火曜日開催	
地域密着型運営推進会議の開催	3施設 年6回

(6) 法人介護支援専門員連絡会議

法人の介護支援専門員の質の向上のために会議の開催を2ヶ月に1回程度予定をしていたが、開催はできなかった。長崎県介護支援専門員協議会西海支部の役員として、会議参加し、情報共有と研修会案内等は実施しリモート等での参加を促した。

(7) 生活困難者レスキュー事業

西彼・西海地区幹事法人からの問い合わせに対してのアドバイスや、特養ふるさと次長と連携し対応を行う。今年度は、幹事法人からのレスキューの依頼は無かった。2月に長崎県生活困難者レスキュー事業全体会へは参加できず。

(8) 地域連携協力会議

社会福祉法人として地域貢献の為に、法人施設の防災・防火に対して取り組みや設備等の説明・意見交換を地域・行政・消防・警察等参加で地域連携協力会議を12月に開催した。有事の際の施設機能の役割等を地域と共に共有し、法人より地域に対しての協力と貢献内容等の説明を実施する。又、昨年度の会議の中で地域より提案がなされた防火用水タンクの設置については、行政区長へ依頼し令和6年度事業で設置決定の報告を受けている。設置後は、消防・消防団と合同訓練の実施を計画する。

(9) 法人防犯対策訓練

不審者の対応訓練等を実施については、各事業所での訓練への参加し対応訓練実施。ケアマネとして在宅訪問した際は、利用者の生活状況を聞く際に不審な電話等での被害を受けないようにその都度情報の提示を行い、安心・安全に暮らせるように説明を行っている。また、今年度は空き巣強盗事件が市内で頻繁にあっており、戸締りの徹底等について、特に一人暮らしの利用者様へは指導を行った。

(10) 居宅介護支援ケアプラン点検について

今年度より、西海市が委託した業者による居宅ケアプラン実施状況の点検ヒヤリングへ変更となり3月に委託業者とし担当者立ち合いのもとで、ケアプランの点検に立ち合い助言・指導を受け、特に指摘等はなかった。

4 令和6年度分野別重点計画振り返り

	令和6年度目標と達成計画	令和6年度：取り組み状況
自立支援型介護実現	<p>【目標】 自立支援介護プラン実施 100%</p> <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人で実施している科学的介護の実践を居宅利用者へも説明、理解して頂いた上で、自立して生活が出来るように、多職種とも連携を取りケアプランへ反映させ、毎月のモニタリングで評価を実施し、プランの変更等へ繋げる ・ケアプラン連携システムの活用を西海市内の事業所との連携し早期に実践できるようにする 	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回以上のモニタリング、サービスが適正か否かの検討出来ている。 ・ケアプラン連携システムの活用は市内事業所が連携されていない。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラン連携は市内事業所のICT導入での連携が必要。
	<p>【目標】 科学的介護アウトカム評価 100%</p> <p>【達成計画】</p> <p>①ADL・IADLの維持、改善率 120%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング実施やサービス事業所とのリハビリ会議へ参加し、多職種とその都度協議し、再アセスメントを実施して評価を本人家族へ説明し、ケアプランへ添付して同意を得てサービスへ繋げる <p>② BPSDの維持、消失率 120%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活自立度の改善、認知症高齢者自立度の改善についても、多職種、専門医の意見も参考に生活の中の問題点、改善点を本人、家族へも説明しプランへ反映させる 	<p>【取り組み状況】</p> <p>① 通所リハビリ事業所では科学的介護を導入しており、リハビリ会議へ参加して、利用者、家族に説明、指導出来ている。</p> <p>② BPSDの出現している利用者は多職種と担当者会議やチャット等を利用し改善に向け意見交換を行い、サービスに繋げる事が出来ている。</p> <p>【課題】</p> <p>通所介護事業所のみ、福祉用具のみの利用者に対しての科学的介護の介入が出来ていない。各事業所との意見交換等でのサービス検討となっている。</p>

【目標】

居宅契約率 100%

【達成計画】

・居宅登録者 80 人と定め、介護支援専門員の一人当たり取り扱い件数が「40 未満」より「45 未満」までに改正されたので、2 人体勢で予防を含め一人平均 40 人の登録を目指す

・介護予防については、包括支援センターと連携を取り、予防プランの要請があった際は相談に応じプラン検討する。

【目標】

加算取得率 100%

【達成計画】

・初期加算取得 100%達成のため、新規契約でプラン作成を実施した月に必ず請求する

・入院情報連携加算取得(Ⅰ)(Ⅱ) 100%達成のため、居宅利用者が病院入院治療となった場合は必ず SW と連携を取り、7 日以内に入院情報の提出を行い、提出した月に必ず請求する

・通院時情報連携加算取得 100%達成のため、医師へ情報提供同席する

・ターミナルケアマネジメント加算取得 100%達成のため、医療連携訪問 2 回以上

・退院・退所加算取得 100%達成のため、居宅利用者の入院時は SW と連携し情報収集した上で、家族とも十分協議し退院前カンファへ参加を実施しプラン変更等協議し請求する

・介護保険認定訪問調査の 100%実施のため、西海市以外の市町村からの介護保険認定訪問調査の依頼があった場合は、出来る限り実施を行い、ケアマネとしてのスキルアップへ繋げ、調査票提出時には必ず請求を行う

【取り組み状況】

・2 人体制で予防含めたケアマネジメント 70 件確保は変動はあるが 12 月まで達成出来ていた。1 月から介護支援専門員の長期病休により新規獲得は行わず、現行利用者のみケアマネジメント行い、予防を 2 月に包括へ移管、介護も 44 件以上は他支援事業所に移管した。

【課題】

・早急な介護支援専門員の確保。

【取り組み状況】

・加算取得率 100%は、新規居宅利用者獲得月に初期加算の取得できた。(32 件)

・入院情報連携加算取得率 100%は、病院 MSW と連携取り 3 日以内に情報提出できた。(13 件)

・退院、退所加算取得 100%はカンファレンス自体が行われず自宅退院になるケースが多く件数は少なかったが参加できた。(1 件)

・介護認定訪問調査依頼の実施 100%は今年度諫早市より依頼され実施。ADL、IADL 等のアセスメントのスキルアップに繋がった。

【課題】

・ターミナルケア加算の強化。

【目標】
不適切ケアゼロ

【達成計画】

- ・在宅での身体拘束、虐待 0%を目指し、在宅訪問時に介護負担から介護放棄、身体拘束、虐待等が見られていないかの確認を必ず実施
- ・サービス事業所とも情報交換を実施し早期発見に繋げる
- ・虐待等が見られる場合は、包括支援センターへ相談し対応を協議する
- ・地域ケア会議等へ事例を提供し多職種での協議を依頼する
- ・地域共生社会の実現の為に障害者、児童への虐待等が見られた場合も包括や地域の民生委員等へ連絡し早期対応へ繋げる

【目標】
利用者自己実現願望達成 100%

【達成計画】

- ・利用者自己実現 100%のため、ケアマネとして利用者本人の意思確認を確実に実施した上で、本人、家族の意向を踏まえ、月 2 回の在宅訪問のモニタリング確認を実施
- ・サービス事業所や地域へも本人、家族の同意を得たうえで協力を依頼し、地域のインフォーマルなサービス等の提供もケアプランへ反映させ自己実現願望達成できるよう支援する

【取り組み状況】

- ・在宅での身体拘束、虐待 0%は月々のモニタリングにて必ず確認を行っている。行政報告はなかった。
- ・認知症の老夫婦世帯で不適切な生活を送っている 2 名を担当しており、医療機関、サービス事業所と協議、子供に状況報告、確認を行う等、密に関わり、入院や、子との同居に繋げ、家庭崩壊を防ぐ事が出来た。

【課題】
今後も独居、高齢者世帯、身元保証人が居ない高齢者の増加が見込まれる。その人らしく最期まで暮らす事が出来るように、多職種での連携強化が必要。

【取り組み状況】

- ・利用者自己実現 100%は、本人、家族にアセスメントを行い、月々のモニタリングにてサービスの満足度、不満等伺い、都度サービス調整や、事業所への要望、共有を行い、より良い在宅生活を送る支援は出来ている。

【課題】
・意欲低下、性格等により、サービスに繋がっていない利用者も存在している。包括、行政との連携強化を行い、孤立を防ぐ必要がある。

【目標】
 事故予防対応力向上

【達成計画】

- ・緊急時対応 100%達成のため、家族と連絡を密に取り早期の対応を実施する
- ・事故予防再発防止 100%達成のため、リハビリ会議へ参加し、専門職と協議し、事故防止策をプランへ反映する
- ・福祉用具貸与、購入、住宅改修対応 100%達成のため、福祉用具専門職と連携し、自立して生活出来るよう早期対応する

【目標】
 感染症訓練実施率 100%

【達成計画】

- ・居宅感染症 BCP での訓練実施：居宅利用者名簿で独居、高齢者世帯名簿作成しサービス事業所へも情報提供する

【目標】
 災害訓練実施率 100%

【達成計画】

- ・災害 BCP のブラッシュアップと訓練の実施
- ・居宅利用者名簿で独居、高齢者世帯名簿作成しサービス事業所へも情報提供する

【取り組み状況】

- ・緊急時対応 100%は、家族とサービス事業所と連絡をとり対応出来た。緊急性の高い利用者に関しては、24 時間対応の緊急時訪問加算を付け、緊急時に備える事が出来た。
- ・事故予防再発防止 100%は、毎月のモニタリングやリハビリ会議にて身体面、精神面の状態確認を実施、状態に合わせた予防対策の実施が出来た。
- ・福祉用具貸与、購入、住宅改修対応 100%は、新規訪問時、希望がある時、又必要時は福祉用具事業所と同行訪問等行い、早期対応を実施できた。

【課題】
 認知症の高齢者は予測不可能な行動をとる可能性があり、家族へ必要な福祉用具の周知を行っていく。

【取り組み状況】
 居宅感染症 BCP の訓練実施出来ている。独居、高齢者世帯をサービス事業所と情報共有行っている。

【課題】
 独居高齢者は感染症でもサービス事業所の介入が必要。介護者の感染拡大もあり、徹底した感染予防を行っていく。

【取り組み状況】
 災害 BCP の訓練実施出来ている。独居、高齢者世帯をサービス事業所と情報共有行っている。

【課題】
 独居、高齢者世帯の孤立を防ぐ為、民生委員、行政の関わり、見守りの強化が必要。

【目標】
 新規職員採用目標 1人

【達成計画】
 ・特定事業所加算を獲得するために最低でも1名の増員で3名体制を作る

【目標】
 中途職員採用目標 1人

【達成計画】
 ・法人職員で介護福祉士取得5年以上の職員へ人事部と協議し受験を勧める
 ・経験者で現在業務を行っていないケアマネ取得者の情報収集を実施する

【目標】
 離職職員ゼロ

【達成計画】
 ・勤務体制及び環境整備を実施し、心理的安全性と働きやすい状況を作る

【目標】
 研修受講 100%
 e ランニング受講 100%
 ケアマネ協議会学習会参加・地域勉強会参加 100%

【達成計画】
 ・ケアマネ協、包括支援センター、多職種連携等の会議や研修会へ参加し、専門性を高めケアプランへ反映させる

【取組み状況】
 ケアマネの新規獲得については、市内、市外の病院・事業所等へも働きかけを実施するが、ケアマネ不足で採用は出来なかった。

【課題】
 ケアマネは処遇改善加算等の対象となっておらず、受験資格があっても受験を受けない事が問題。

【取組み状況】
 中途職員採用においても、ケアマネ協議会の会議や研修等へも参加し、声掛けを実施しているがケアマネ不足で採用出来なかった。

【課題】
 ケアマネ取得者が業務に就きたい魅力的な就業環境を作る。

【取組み状況】
 ・現在離職者は居ないが、病休で一人での業務実施。負担軽減の為、担当件数を減らして心理的安全性を確保している。

【課題】
 ・休職中職員の担当業務の対応

	<p>・e ランニング研修については、法定研修はもとよりケアマネとしての基本知識について再認識するため毎月決められた受講を実施する</p>	
組織マネジメント	<p>【目標】 出勤時のケアマネ行動確認 100%</p> <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガルーンの居宅事業所予定表に、2 人の行動予定の入力 ・2 人のケアマネがお互いの担当利用者情報を共有し、対応する <p>【目標】 lon1 フィードバック・ミーティング 100% 実施</p> <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10 日に一回の lon1 ミーティングの実施にて、業務以外の内容報告が出来る環境を作る <p>【目標】 経費削減 100%</p> <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コピー用紙の無駄遣いを無くす ・光熱費削減にて、事務所の電気暖房等外出時は必ず消す <p>【目標】 稟議決裁プロセスの遵守</p> <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガルーン、キントーン、クロノス未処理確認 100% <p>【目標】 施設管理・点検完全実施</p>	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガルーンの居宅予定表に行動入力が出来ない事もあった。緊急時の対応等は、口頭での共有を行っている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続実施 <p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勤務時毎朝業務内容の確認、情報共有を行っている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上司休職中 <p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コピー用紙の無駄使いを出来るだけ無くすよう問題が無ければ、表裏コピーを行っている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数値化された具体的目標設定 <p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガルーン、キントーン、クロノスの未処理確認を 100% 行っている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 継続実施 <p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公用車の洗車は毎月実施する事は出来なかった。

<p>地域への公益的取り組み</p>	<p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月末の金曜日に公用車の洗車、室内清掃を必ず実施し、法人の看板を背負って活動している自覚を持つ <p>【目標】</p> <p>法人地公取への参加協力及び地元地域行事への協力活動（出席義務以外）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①レスキュー事業への継続的参加 100% ②住み慣れた自宅で自立した生活の実践講話 100% ③「自立支援介護の実践」講和 ④認知症改善講座の開催 100% ⑤介護報酬改定説明会 100% ⑥ 地域行事への参加と介護ブースの検討 100% <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①生活困窮者へ対して、県の事業へ参加し支援を実施する ②介護が必要となっても自宅でサービス利用で自立して生活できるように多職種連携を実施する ③市内行政区長とも連携を取り、地域へ自立支援での生活と実践を指導する ④科学的介護実践で学んだ認知症タイプ判定を実施し、認知症の問題解決へ繋がる指導を行う ⑤2024年法改正について、利用者、家族や地域へ対して説明を実施する ⑥ ケアマネとして地域行事へ参加し介護支援についての説明会や実践を行う 	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備ルール等実施計画 <p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の活動も平常化したので、地域の「わいわいサロン」での「終活について」皆さんへ説明し話し合う機会をもてた。（3地区） <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員休職者発生のため取り組みが停滞した
--------------------	---	--

(2) 稼働実績

目標値

年間契約者数	779 人	
介護 (月 35×2) 70 名	57 人	81.4%
予防 (月 5×2) 10 名	5.9 人	60%
延べ実利用者数	779 人	81.1%

介護 ケアマネ一人当たり 45 名

予防 5 名

※令和 6 年度年間契約目標数は 779 人で昨年の 813 人より減少となった。

※介護利用者毎月 70 人利用目標であったが、57 人平均となった。2・3 月については一人ケアマネの為に利用者様の支援依頼を市内居宅事業所へ依頼した為に減少となった。

※介護予防利用者 10 人利用者目標であったが、5.9 人 予防支援者については 2 月より包括へ依頼

※ひと月当たり 80 名利用者利用者対応目標は月平均 64.9 人

※昨年度より利用者数は増加し 70 名の時もあったが、毎月 70 名目標達成はできなかった。

又、上記にも記載のとおり 2・3 月については、居宅事業所ケアマネの支援できる人数超過にて、市内の居宅介護支援事業所へ依頼しケアマネの交代とサービス実施を依頼した。

令和6年度事業報告「グループホームふるさと」

令和6年度の「グループホームふるさと」の事業について、次のとおり報告いたします。

1. 令和6年度活動概況

家庭の延長としてのグループホームの機能・役割を認識し、趣味や生活歴を活かしたレクリエーションや生活リハビリ、家族や地域との交流などを取り入れた行事計画に沿って活動を展開した。

令和6年度は、実稼働率が95.8%と目標の98%達成する事が出来なかった。延べ入院者数及び外泊者数234人で前年(134人)と比べると入院者が増加した。要因としては、転倒骨折(4件)が多く、入院日数が増えた事があげられる。転倒場所は、居室での転倒骨折が2件、リビングでの転倒骨折が2件あげられる。加齢に伴う身体機能の低下や歩行時の補助具(歩行器等)、履物が足に合っておらず、不安定な歩行に繋がった。西彼杵広域リハビリテーションの介入により個別に合わせた杖や歩行器の調整方法、歩行しやすい履物の指導、助言を頂きました。個別に合わせた対応をしていく事で事故防止にも繋げていきたい。

事業所としては、感染予防対策の徹底、感染予防対策訓練を行っていたが、1月に新型コロナによる感染が発生した。利用者様3名と感染したが、一人の重症者を出す事もなく施設内療養にて終息した。

今年度の新たな取り組みとしては、2月にインカムを導入しました。職員間の連携の強化、業務効率の向上や緊急時の迅速な対応に繋げていく。

令和6年度の運営推進会議については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策、インフルエンザ感染拡大防止対策を十分にとりながら年6回開催した。外部評価については、運営推進会議を活用し、各委員から評価項目に沿って意見を聴取、総括したものを西海市へ提出及びWAMNETにて公表している。

2. 利用状況

項目	今年度	前年度	対前年比	
年間延べ満床者数	6,570名	6,588名		
年間延べ利用者数	6,531名	6,563名	99.51%	↓
延べ入院・外泊日数	234日	134日	174.62%	↑
年間延べ実利用者数	6,297名	6,429名	97.94%	↓
実稼働率	95.8%	97.6%	98.16%	↓
延べ未契約日数	39日	25日	156.00%	↑
平均介護度	2.1	1.7		

3. 入退所状況

	種別	人数	備考
R6年5月	退所	1名	長期入院・治療が必要
R5年5月	入所	1名	在宅より
R6年5月	退所	1名	長期入院・治療が必要
R6年6月	入所	1名	病院より
R6年8月	退所	1名	死亡
R6年8月	入所	1名	病院より
R7年1月	退所	1名	長期入院・治療が必要
R7年1月	入所	1名	在宅より

○ 入所者総数：4名

○ 退所者総数：4名

4. 分野別重点計画振り返り

	令和6年度；目標と目標達成計画 (予算組み必要であれば計上)	取り組み状況と課題
自立支援介護の実現	【目標】 自立支援型ケアプラン実施 100% 【達成計画（=標的行動）】 1 水分量 100% 2 食事完食率 100% 3 下剤使用減少率 20% 4 尿失禁減少率 20% 5 便失禁減少率 30% 6 歩行距離個別目標達成率 100% 【目標】 科学的介護アウトカム評価 100% 【達成計画（=標的行動）】 1 ADL改善率 目標75点 2 Vitality Index 改善率 目標8.8点 3 BPSD 消失率 20%消失 4 DBD13 改善率 目標43点 5 OHAT 改善率 目標2.5点 6 アルブミン値改善率 目標15名	1 個人別目標水分量を摂取出来るように取り組んだが目標達成には届かなかった。達成率74.3% 2 利用者個別に沿った食事形態を提供し完食出来るように取り組んだが目標達成には届かなかった。達成率88.5% 3 科学的介護に基づき支援する事で下剤使用を減らす事が出来たが目標達成には届かなかった。達成率71.5% 4 科学的介護に基づき支援する事で尿失禁の回数が減りトイレでの排泄が出来たが目標達成には届かなかった。達成率55% 5 科学的介護に基づき支援する事で便失禁の回数が減りトイレでの排泄が出来たが目標達成には届かなかった。達成率83% 6 歩行訓練実施は出来ていたが、目標の距離には届かなかった。達成率64.2% 1 51.9点 達成率74.1% 目標には届かなかった 2 8.3点 達成率94.3% 目標には届かなかった 3 0%消失 達成率0% 消失までには至らなかったが症状の軽減(興奮・不穏状態の軽減、夜間の不眠の減少等)には繋がっています。 4 40.4点 達成率93.9% 目標には届かなかった 5 3ヶ月に1度のOHATを実施する事で現状の把握をし、重点的口腔ケアを行った。評価の改善は見られたが目標達成には届かなかった。達成率76.2% 6 半年に1度の血液検査を実施し、現在正常値者13名となったが目標達成には届かなかった。達成率86.6%

収益性の向上と安定の確保	<p>【目標】 稼働率 98%</p> <p>【達成計画（＝標的行動）】</p> <p>1 空室率 0.2%</p> <p>2 入院率 1%未満</p> <p>【目標】 加算取得率 100%</p> <p>【達成計画（＝標的行動）】</p> <p>1 栄養管理体制加算 100%</p> <p>2 生産性向上推進体制加算 100%</p>	<p>1 令和6年度は退所4名、4名新規入所。2名は7日以内に次期入所が出来たが、1名は12日後、もう1名は22日後に入所となった。達成率33.3%</p> <p>2 令和6年度は、入院日数234日。達成率27.7%</p> <p>1 取得出来ていない 法人の管理栄養士との連携、協議が出来ておらず取得出来ていない</p> <p>2 取得出来ている</p> <p>【課題】 ・今年度取得できていない加算、来年度の新たな加算取得に向け計画を立て、多職種との連携を図る。</p>
権利擁護の完全実施	<p>【目標】 ・不適切ケアゼロ</p> <p>【達成計画（＝標的行動）】</p> <p>1 職域相互チェック：適正率100%（毎月）</p> <p>【目標】 ・利用者満足度100%</p> <p>【達成計画（＝標的行動）】</p> <p>1 利用者願望（自己目標）100%達成</p>	<p>1 不適切ケア0達成。毎日のミーティング内で該当するような事案がないか協議出来た</p> <p>1 利用者自己実現目標の達成は18名中3名しか出来なかった。（現状16.6%）利用者様の意向を十分に反映できておらず、適切な目標設定や達成に向けた支援が不足していたことにより達成率が低かった。</p> <p>【課題】 ・最初から大きな目標を設定するのではなく、「何か一つやってみたいこと」「ちょっと頑張ればできそうなこと」といった目標から始め、成功体験を積み重ねていく</p>

リスクマネジメント	<p>【目標】 事故予防対応力の向上</p> <p>【達成計画（＝標的行動）】</p> <p>1 事故発生改善率 100% 利用者様個々に合わせた生活環境の整備を行う</p> <p>【目標】 事故予防及び再発防止の徹底</p> <p>【達成計画（＝標的行動）】</p> <p>2 リスク評価点 目標 40 点</p> <p>【目標】 転倒予防トレーニングの実施</p> <p>【達成計画（＝標的行動）】</p> <p>3 トルト評価改善率 目標 18 点</p> <p>【目標】 感染症まん延時及び発生時における事業継続体制の構築</p> <p>【達成計画（＝標的行動）】</p> <p>4 毎月感染症訓練実施</p> <p>【目標】 災害発生時における事業継続体制の構築</p> <p>【達成計画（＝標的行動）】</p> <p>5 避難訓練実施 年 1 回の地域との合同訓練実施 半年ごとに非常災害対策 BCP の更新、見直し</p>	<p>1 令和 5 年度 11 件 令和 6 年度 15 件 ・利用者様に合わせた歩行器や杖等を使用し転倒のリスクを減少していけるように取り組んだが転倒事故が今年度は多かった。</p> <p>2 リスク評価点 46.7 点 達成率 85.6%</p> <p>3 トルト評価点 13.9 点 達成率 77.2%</p> <p>4 感染症対策訓練は毎月実施出来ていたが、主にガウンテクニックの訓練ばかりで実践的な訓練が出来ていなかった。</p> <p>5 運営推進会議内にて 10 月に実施出来た。 ・福祉 BCP 実践指示書の作成を行ったが、初動訓練は年に 2 回実施。</p> <p>【課題】 ・避難訓練、災害訓練は実施できたが、防犯訓練の実施が出来ていなかった。来年度は、計画的に実施していく。（避難訓練 4 月、7 月、10 月、1 月・防災訓練 5 月、8 月、11 月、2 月・防犯訓練 6 月、9 月、12 月、3 月の実施）</p>
-----------	--	---

人材の確保・育成・定着	<p>【目標】</p> <p>新規職員採用目標 1人 中途職員採用目標 1人 職員定着率 100%</p> <p>【達成計画】</p> <p>1 職員が半期に1度以上は知人や近隣住民に声かけ行なう。管理者はフィードバック・ミーティング時に確認する</p>	<p>1 常勤職員1名、夜勤専従1名の職員を雇用し、日勤帯の職員の確保、夜勤回数の軽減、職員の負担軽減が出来た。</p> <p>11月に1名退職 3月末に1名退職</p>
組織マネジメント	<p>【目標】</p> <p>標的行動フィードバック・ミーティングの完全実施</p> <p>【達成計画（＝標的行動）】</p> <p>1 フィードバック・ミーティング 100%実施</p> <p>【目標】</p> <p>経理事故 0</p> <p>【達成計画（＝標的行動）】</p> <p>2 小口現金事故 0</p>	<p>1 10日に1度のフィードバック・ミーティングが出来ていない時があった。実施率 91%</p> <p>2 請求関係、毎月5日までにまとめ本部の経理担当へ提出するようになっていたが期限を過ぎて提出する事があった。達成率 89%</p>
地域への公益的取組	<p>【目標】</p> <p>地域活動への参加</p> <p>【達成計画（＝標的行動）】</p> <p>1 地域行事への参加</p>	<p>1 地域活動への参加は職員12人中6人が参加出来た。達成率 50%</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域行事の情報収集を行い、計画を立て参加していく。 ・月1回の外出支援の計画を立て実施する。

5. 入所者状況（令和6年3月31日現在）

入居人数	18名（男性／3名 女性／15名）		
要介護区分（平均介護度：2.1）			
要支援2（0名）		要介護1（6名）	
要介護3（5名）		要介護2（6名）	
要介護4（0名）		要介護5（1名）	
年齢 平均 88歳（最低／77歳）（最高／97歳）			

6. 運営推進会議の開催状況

以下の構成員にて6回の運営推進会議を開催し、活発な意見交換を行った。

委員	利用者家族	1名	西海市職員	1名
	地域住民の代表	3名	西海市社協	1名
施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事長・統括施設長 ・ ひなげし棟管理者・すずらん棟管理者 			4人

○実施状況

回	月日	場所	参加人数	主な協議テーマ
第1回	5月22日	グループホーム ふるさと	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度目標計画 ・ 身体拘束等適正化委員会 ・ 利用状況と活動状況 ・ 意見交換
第2回	7月12日	文書による 書面開催	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループホームでの暮らし ・ 身体拘束等適正化委員会 ・ 利用状況と活動報告 ・ 意見交換
第3回	10月6日	グループホーム ふるさと	15名	<ul style="list-style-type: none"> ・ サポートセンターと合同避難訓練 ・ 身体拘束等適正化委員会 ・ 利用状況と活動報告 ・ 意見交換 ・
第4回	11月20日	グループホーム ふるさと	9名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営推進会議で話し合う項目についての協議（外部評価について） ・ 身体拘束等適正化委員会 ・ 利用状況と活動報告 ・ 意見交換
第5回	1月22日	文書による 書面開催	9名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部評価について ・ 身体拘束等適正化委員会 ・ 利用状況と活動報告 ・ 意見交換

第6回	3月5日	グループホーム ふるさと	9名	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価結果報告・令和7年度目標達成計画について 身体拘束等適正化委員会 利用状況と活動報告 意見交換
-----	------	-----------------	----	--

7. 主な活動状況

年間を通した活動・行事			
<ul style="list-style-type: none"> 誕生会（各ユニットにて開催） 避難訓練（2ヶ月に1回） 夜間出動訓練（年に2回） 		<ul style="list-style-type: none"> 感染対策訓練（毎月1回） 自家発電動作訓練（2ヶ月に1回） 	
主な月別行事（上記月例行事を除く）			
4月	<ul style="list-style-type: none"> 花見 花まつり 作品作り スプリングマルシェ 	10月	<ul style="list-style-type: none"> 合同避難訓練 赤い羽根共同募金 ドライブ ハロウィン茶話会 瀬川こども園運動会交流
5月	<ul style="list-style-type: none"> 母の日茶話会 菖蒲湯 ドライブ 	11月	<ul style="list-style-type: none"> 作品作り 調理レク
6月	<ul style="list-style-type: none"> 父の日茶話会 作品作り（貼り絵） 	12月	<ul style="list-style-type: none"> クリスマス会 干し柿作り
7月	<ul style="list-style-type: none"> 七夕茶話会 西海北小学校七夕交流 スイカ割り 	1月	<ul style="list-style-type: none"> 新年祝賀会 鏡開き
8月	<ul style="list-style-type: none"> 作品作り お盆のお唱え ドライブ 	2月	<ul style="list-style-type: none"> 節分豆まき会 バレンタインデーおやつ作り ドライブ
9月	<ul style="list-style-type: none"> 敬老会リハーサル 敬老演芸会 ドライブ 	3月	<ul style="list-style-type: none"> ドライブ 花見 ひな祭り茶話会

8. 会議・研修会 開催状況

(1) グループホーム会議 10回

令和6年度	研修内容
4月	事業計画について 認知症について
5月	身体拘束について
7月	食中毒
8月	福祉BCP（初動訓練）
9月	緊急対応訓練 感染対策訓練（Pトイレ）
10月	高齢者虐待 不適切ケアについて
11月	感染症について（インフルエンザ予防とまん延防止 ノロウイルス予防とまん延防止）
12月	身体拘束について（スピーチロック）
1月	認知症について
2月	高齢者虐待について

(2) ユニット会議 10回

(3) 火災訓練（避難訓練） 5回

(4) 防災訓練（非常用自家発電機）（福祉BCP初動訓練） 4回

(5) 防犯訓練回 1回

(6) 感染対策訓練（ガウンテクニック訓練） 12回

9. 研修参加状況

【法人内研修】

- ・ 事業所連絡会議（リモート開催 12回） 12回
- ・ 口腔ケア委員会 12回
- ・ 科学的介護訪問コンサルティング研修 3回

※法人主管研修除く（法人報告書に記載）

【運営推進会議を活用した外部評価】

全職員にて自己評価を実施し、自分達の1年間の活動状況や反省点を再確認しました。必要書類の他に写真や追加の資料を準備し委員の皆様から評価を受けた。受講後、結果内容を全職員へ周知し、GH会議にて令和7年度の目標達成計画を全職員で決めた。

令和7年2月24日、西海市へ外部評価結果報告書類を提出し受理。

<https://www.wam.go.jp/wamappl/hyoka/hyokasrch.nsf/resultdetail?Open&SRCHTYPE=1&MYSERVICECODE=0001433&MYJIGYONO=4200000223&MYBUNJONO=>
(WAM NETにて閲覧可)

令和6年度事業報告「第2グループホームふるさと」

令和6年度の「第2グループホームふるさと」の事業について、次のとおり報告いたします。

1. 令和6年度活動概況

家庭の延長としてのグループホームの機能・役割を認識し、趣味や生活歴を活かした生活支援や、家族や地域との交流などを取り入れた行事計画に沿って活動を展開した。

本年度の実稼働率は97.2%と目標の98%を達成する事が出来なかった。延べ未契約日数については57日と前年(29日)に比べると増加した。入退所について早めの対応、出来ていたが件数が多くあった為、未契約日数の増加に繋がった。入院者数及び外泊者数は129人と前年(149人)に比べると低下していたが目標の達成まではできなかった。

事業所として感染予防の研修会や対応・対策の訓練を行い、施設内でコロナ感染等発生した場合、全職員が同じ対応が出来る様に実施した。本年度は新型コロナ感染発生にて利用者へ居室対応、感染拡大防止を徹底し蔓延防止に努めた。

地域密着型サービス事業者に義務づけられている「運営推進会議」を年6回集合形式及び書面にて開催し、施設運営等について運営推進委員の皆様より意見聴取や外部評価を実施した。

地域との交流においては、地域の新型コロナ感染状況を確認しながら、地域の行事や利用者の出身地に出掛け、馴染みのある風景を感じて頂ける事で自然に笑顔になり喜んで頂いた。

2. 利用状況

項 目	今年度	前年度	対前年比	
年間延べ満床者数	6, 570名	6, 588名	—	—
年間延べ利用者数	6, 513名	6, 559名	99.3%	↓
延べ入院・外泊日数	129日	149日	86.5%	↓
年間延べ実利用者数	6, 384名	6, 410名	99.6%	↓
実稼働率	97.2%	97.3%	99.9%	↓
延べ未契約日数	57日	29日	196.6%	↑
平均介護度	1.8	2.1	—	—

3. 入退所状況

月日	種別	人数	備 考
5月	退所	1名	他施設へ
6月	入所	1名	自宅より
8月	退所	3名	亡くなる
	退所		亡くなる
	入所		自宅より
9月	入所	1名	自宅より
10月	退所	2名	亡くなる
	入所		自宅より
1月	退所	2名	特養へ
	入所		特養より

○ 入所者総数：5名

○ 退所者総数：5名

4. 分野別重点計画振り返り

	R6 年度；目標と目標達成計画 (予算組み必要であれば計上)	取り組み状況と課題
自立支援型介護の実現	<p>【目標】 自立支援介護プラン実施 100%</p> <p>【達成計画(=標的行動)】</p> <p>① 水分量 100%</p> <p>② 食事完食率 100%</p> <p>③ 下剤減少率 20%</p> <p>④ 尿失禁減少率 20%</p> <p>⑤ 便失禁減少率 10%</p> <p>⑥ 歩行距離個別目標達成率 100%</p> <p>【目標】 科学的介護アウトカム評価 100%</p> <p>【達成計画(=標的行動)】</p> <p>① ADL改善率 目標 70 点</p> <p>② Vitality Index 改善率 目標 8.5 点</p> <p>③ BPSD 消失率 10%消失 目標 35 項目</p> <p>④ DBD13 改善率 目標 45 点</p> <p>⑤ OHAT 改善率 目標 2.5 点</p> <p>⑥ アルブミン値改善率 目標 10 名</p>	<p>① 各利用者別に目標を設定しており、目標量摂取達成できるように取り組んだ。状況を見ながら、目標の変更も行った。 達成率 75.1%</p> <p>② 利用者個別に沿った食事形態を提供出来た 達成率 100%</p> <p>③ 科学的介護に基づき支援する事で全ての臨時の下剤使用を無くす事ができたが、定時の下剤の減少は目標達成できた。 達成率 28.6%</p> <p>④ 科学的介護に基づき支援行えたが、目標達成までは出来なかった。 達成率 0%</p> <p>⑤ 科学的介護に基づき支援行えたが、目標達成までは出来なかった。 達成率 0%</p> <p>⑥ 歩行訓練は実施できていたが、目標の距離には届かなかった。達成率 45.2%</p> <p>① 平均 63.5 点 達成率 90.8%</p> <p>② 平均 7.4 点 達成率 86.7%</p> <p>③ 40 項目 達成率 92%</p> <p>④ 平均 40.8 点 達成率 90.7%</p> <p>⑤ 3.89 点 達成率 64.3%</p> <p>3ヶ月に1度のOHATを実施する事で現状の把握し重点的口腔ケア行った。評価の改善は見られたが評価の目標達成には届かなかった。</p> <p>⑥ 3～6か月に一度の血液検査実施し現在、6名の方が正常値の範囲内となった 6名 達成率 60%</p>

<p>収益性の向上と安定の確保</p>	<p>【目標】 稼働率 98%</p> <p>【達成計画(=標的行動)】</p> <p>① 空室率 0.2%</p> <p>② 入院率 1%未満</p> <p>【目標】 加算取得率 100%</p> <p>【達成計画(=標的行動)】</p> <p>① 口腔衛生管理体制加算 100%</p> <p>② 医療連携体制加算 100%</p> <p>③ 栄養管理体制加算 100%</p> <p>④ 生産性向上推進体制加算(Ⅱ)100%</p>	<p>【課題】 自立支援介護の取り組みについて各利用者目標設定を行い実施しているが目標値にやや届かない事があり、確実に達成出来る様に成長のルールに則り、支援していく。又、口腔ケア試験(初級、中級、上級)にも望む。</p> <p>① 令和6年度は5名退所、5名新規入所。2名は7日以内に次期入所する事が出来たが、3名は10日程経ってからの入所となった。達成率 40%</p> <p>② 達成できなかった。 入院率 1.9% 達成率 52.6%</p> <p>① 取得出来ている</p> <p>② 取得出来ている</p> <p>③ 法人の管理栄養士との連携がうまくできていなかった為、実施出来ていない。</p> <p>④ 達成できた</p> <p>【課題】 稼働の空室率について退所からの入所までの期間が長くなる事もあり、次期入居者についての情報収集をしっかり行い、早期入所を目指す。又口腔ケア試験について初級を初め、職員の知識や技術に合わせ受講する。</p>
<p>権利擁護の完全実施</p>	<p>【目標】 不適切ケアゼロ</p> <p>【達成計画(=標的行動)】 ・職域相互チェック：適正率 100%(毎月)</p> <p>【目標】 利用者満足度 100%</p> <p>【達成計画(=標的行動)】 ・利用者願望(自己目標) 100%達成</p>	<p>・不適切ケア1件あり、対応、対策を統一した。毎日のミーティング内で該当するような事案がないか協議出来た。</p> <p>【課題】 ・利用者自己実現目標を達成する為に細かな目標設定を行って、科学的介護にてADLの向上を図りながら目標が実現できるように計画を立て実施する。 18名中4名(現状 22.2%)</p>

リスクマネジメント	<p>【目標】 事故予防・対応力の向上</p> <p>【達成計画(=標的行動)】 ・事故発生改善率 100%</p>	<p>・事故発生改善率 100% (令和5年度：42件 令和6年度：25件) →ご利用者に合わせ歩行器、杖等を使用し転倒のリスクを減少出来た。生活環境の整備を行った。</p>
	<p>【目標】 事故予防及び再発防止の徹底</p> <p>【達成計画(=標的行動)】 ・リスク評価改善率 100%</p>	<p>・リスク評価改善率 100% →集計したヒヤリハットをユニット会議にて情報共有し対策や対応を実施し再発防止に努めた</p>
	<p>【目標】 転倒予防トレーニングの実施</p> <p>【達成計画(=標的行動)】 ・トルト評価改善率 目標16点</p>	<p>・ヒヤリハット改善率 100% (令和5年度：605件 令和6年度：408件) →昨年度に比べ提出率の減少があった</p>
	<p>【目標】 感染症まん延時及び発生時における事業継続体制の構築</p> <p>【達成計画(=標的行動)】 ① 毎月感染症対策訓練実施 ② 感染症BCPは随時更新(法人と連携)</p> <p>【目標】 ・災害発生時における事業継続体制の構築</p> <p>【達成計画(=標的行動)】 ① 3ヶ月に一度の避難訓練実施 年1回の地域との合同訓練実施 ② 半年毎に非常災害対策BCPの更新、見直し</p>	<p>・トルト撮影にて点数が下がった際には、ユニット会議内で杖や歩行器の使用の検討を行い、転倒リスクが減少出来るように対策、対応できた。 最終トルト評価 11.2点 達成率 70%</p> <p>① 感染症対策訓練全体会を中心に実施できた ② 感染症BCPは随時更新が出来なかった。</p> <p>① 実施できた。 合同訓練について運営推進会議にて10月に実施できた。 ② 福祉BCP実践指示書の作成しており訓練、2回実施出来た。</p>

		<p>【課題】</p> <p>避難訓練、災害 BCP を使用しての訓練は実施できたが、防犯訓練が余り出来ていなかった。来年度は計画的に実施していく。(3ヶ月に一度、避難訓練、災害訓練、防犯訓練の実施)</p>
組織マネジメント	<p>【目標】</p> <p>標的行動フィードバック・ミーティングの完全実施</p> <p>【目標】</p> <p>小口現金事故 0</p>	<p>・実施できた。</p> <p>① 10日に一度のフィードバックミーティングが実施できなかった時もあり 実施率 86.5%</p> <p>① 期限内に処理する事が出来た。</p> <p>【課題】</p> <p>フィードバックミーティングが完全実施できるようにガルーンへの日程の入力を行い、管理者、職員が意識を持って実施する。</p>
人材の確保・育成・定着	<p>【目標】</p> <p>① 新規職員採用目標 1人 中途職員採用目標 1人</p> <p>② 職員定着率 100%</p> <p>③ 研修受講率 100%</p>	<p>① 夜勤専従職員 1名採用</p> <p>② 退職者なし 達成率 100%</p> <p>③ eラーニング、年間研修計画に沿って視聴行う事ができたが、途中遅れている職員がいる。その都度管理者が進捗状況を把握し個別に伝えている。 達成率 100%</p> <p>【課題】</p> <p>フィードバック時にeラーニングの進捗を確認し計画通りに進めるよう促す。</p>
地域への公益的取組	<p>【目標】</p> <p>レスキュー事業への継続的参加</p> <p>【達成計画(=標的行動)】</p> <p>① 地域行事への参加</p> <p>② 地域貢献活動 100%実施</p>	<p>① 瀬川こども園の交流(運動会、お遊戯会等)実施できた。</p> <p>② 地域貢献への参加、全員職員は出来なかった。 達成率 41.7%</p> <p>【課題】</p> <p>地域の情報収集行い、計画を立て行事参加していく。</p> <p>月1度の外出支援の計画を立て実施する</p>

5. 入所者状況（令和7年3月31日現在）

入居人数	18名（男性／4名 女性／14名）		
要介護区分（平均介護度：1.8）			
要支援2（0名）	要介護1（7名）	要介護2（7名）	
要介護3（4名）	要介護4（0名）	要介護5（0名）	
年齢	平均 89.2歳（最低／62歳）（最高／103歳）		

6. 運営推進会議の開催状況

以下の構成員にて6回の運営推進会議を開催し、活発な意見交換を行った。

委員	利用者家族	1名	西海市職員	1名
	地域住民の代表	3名		
	西海市社協職員	1名		
施設	理事長・統括施設長・管理者			4人

○実施状況

回	月日	場所	参加人数	主な協議テーマ
第1回	5月23日	第2グループホーム ふるさと	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度事業計画 ・ 身体拘束等適正化委員会 ・ 利用状況と活動状況 ・ 意見交換 ・
第2回	7月20日	第2グループホーム ふるさと	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自立支援介護について ・ 身体拘束等適正化委員会 ・ 利用状況と活動報告 ・ 意見交換 ・
第3回	10月6日	第2グループホーム ふるさと	17名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合同避難訓練 ・ 身体拘束等適正化委員会 ・ 利用状況と活動報告 ・ 意見交換 ・

第4回	11月14日	第2グループ プホーム ふるさと	8名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営推進会議で話し合う項目についての協議（外部評価について） ・ 身体拘束等適正化委員会 ・ 利用状況と活動報告 ・ 意見交換
第5回	1月16日	第2グループ プホーム ふるさと	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営推進会議で話し合う項目についての協議（外部評価について） ・ 身体拘束等適正化委員会 ・ 利用状況と活動報告 ・ 意見交換
第6回	3月10日	第2グループ プホーム ふるさと	8名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部評価結果報告・令和7年度目標達成計画について ・ 身体拘束等適正化委員会 ・ 利用状況と活動報告 ・ 意見交換

7. 主な活動状況

年間を通した活動・行事			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 誕生会（各ユニットにて開催） ・ 避難訓練（3か月に1回） ・ 夜間出動訓練（年に2回） 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染対策訓練（6回） ・ 自家発電動作訓練（3か月に1回） 	
主な月別行事			
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 茶話会 ・ 花見 ・ スプリングマルシェ 	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 赤い羽根共同募金 ・ 瀬川こども園運動会
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母の日茶話会 ・ こどもの日茶話会 	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドライブ

6月	<ul style="list-style-type: none"> 父の日茶話会 おやつパーティー 	12月	<ul style="list-style-type: none"> クリスマス会 干し柿作り
7月	<ul style="list-style-type: none"> 七夕茶話会 スイカ割り 	1月	<ul style="list-style-type: none"> 新年祝賀会 鬼火焚き かがみ開き
8月	<ul style="list-style-type: none"> おやつパーティー 	2月	<ul style="list-style-type: none"> 節分・茶話会 バレンタインデー
9月	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと敬老演芸会 プレ敬老会 お月見 	3月	<ul style="list-style-type: none"> ひな祭り茶話会 ホワイトデー ドライブ

8. 会議・研修会開催状況

(1) 職員全体会議

10回

令和6年度	研修内容
4月	事業計画について
5月	感染症（食中毒、感染症）
7月	身体拘束①、
8月	リスクマネジメント
9月	認知症①、高齢者虐待①
10月	緊急対応
11月	感染症（O-157、ノロ、インフルエンザ）
12月	認知症②
1月	身体拘束②
2月	高齢者虐待②

(2) ユニット会議

10回

(3) 火災訓練(避難訓練)

4回

(4) 防災訓練(非常用自家発電機動作訓練)(福祉 BCP 初動訓練)

6回

(5) 防犯訓練

2回

(6) 感染対策訓練（ガウンテクニック・ゾーニング訓練）

8回

9. 研修参加状況

【法人内研修】

- | | |
|------------------|-----|
| ・事業所連絡会議(リモート開催) | 12回 |
| ・口腔ケア委員会 | 12回 |
| ・科学的介護コンサルティング研修 | 3回 |

10.外部評価

全職員、自己評価実施し、職員の一年間の活動状況や反省点を再認識する。
運営推進委員の皆様からほとんどの項目において良い評価を受ける事が出来た。

受講後、結果内容(反省点やアドバイス含む)を全職員へ周知。また、外部評価結果報告及び、目標達成計画を立案し次年度に向けた取り組みを3月3日、西海市へ提出し受理して頂いた。

<https://www.wam.go.jp/wamappl/hyoka/hyokasrch.nsf/resultdetail?Open&SRCHTYPE=1&MYSERVICECODE=0001433&MYJIGYONO=4200000226&MYBUNJONO>
=

(WAM NETにて閲覧可)

令和6年度事業報告「ふるさとシニアライフサポートセンター」

1. 事業概況

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、在宅生活を包括的に支える「小規模多機能型居宅介護事業所」を併設した「サービス付き高齢者向け住宅」では、日常生活上のケアを必要に応じて受けながら、自立した生活ができるように配慮されている。ここでは、自立支援介護の基本ケア（食事・水分・排泄・歩行）の実践や、専門的な口腔ケアの実践を通じて誤嚥性肺炎等の予防に取り組み、それぞれの利用者様の自立能力の維持向上に努めている。

長期に及んだ新型コロナウイルス感染症の影響で地域のイベントが軒並み減少する中、少しでも地域の皆様と楽しめる機会を提供するため、「スプリングマルシェ」の開催をはじめ、地域のボランティア団体との交流会や演奏会を開催した。

一方で、コロナ禍の良い影響として、オンラインコンサートの開催やオンライン配信イベントへの参加が容易になり、ご利用者様が楽しむ機会が増えた。

ご利用者様が一番楽しみにされているご家族との交流については、法人独自の感染警戒リンクを設け、感染状況に応じたご家族との面会や外出を実施した。また、毎月ご家族への状況報告や「ふるさとだより」の発行、ホームページやインスタグラムを通じて、ご利用者様が楽しんで生活されている様子などの情報発信に努めた。利用状況は、小規模多機能型居宅介護が新規契約者5名、終了者6名。サービス付き高齢者向け住宅が新規入居者5名、退居者6名。稼働率平均は、小規模多機能型居宅介護が92.1%（前年度：88.2%）、サービス付き高齢者向け住宅が82.5%（前年度：78.9%）となり、昨年度を上回った。小規模多機能型居宅介護事業者に義務付けられている運営推進会議は6回実施し、活動状況、事例紹介、研修実施報告等の意見交換を行った。年に1回、事業所が自ら提供するサービスについて評価・点検を行い、運営推進会議において第三者の観点からサービスの評価を行うサービス評価を例年同様に実施した。

2. 利用状況

	小規模多機能型居宅介護		サービス付き高齢者向け住宅	
	本年度	前年度	本年度	前年度
契約者（延べ）	23名	19名	23名	19名
契約終了者	6名	4名	6名	4名

3. 利用者状況（令和7年3月31日現在）

利用者数	15名	（男性／1名 女性／14名）					
要介護区分	（平均介護度：1.6）						
要支援	2（1名）	要介護1	8（8名）	要介護2	3（3名）	要介護3	3（3名）
年齢	平均 90.3 歳	（最低／76 歳）（最高／99 歳）					

4. 分野別重点計画振り返り

	令和6年度；目標と目標達成計画	令和6年度；取り組み状況と課題
科学的（自立支援）介護の実現	<p>【目標】 科学的（自立支援）介護プラン実施 100%</p> <p>【達成計画】</p> <p>① 水分摂取量の確認及び把握率 100%</p> <p>② 運動弱者の個別運動目標設定・実施 80%</p> <p>③ 排便状況の確認及び把握率 100%</p> <p>※目標を設定すればしっかりと実施出来るご利用者が多いが、次年度は認知症の進行や意欲の低下から積極的に実施できない方に対象者を絞って実施する。</p>	<p>【目標】 科学的（自立支援）介護プラン実施 100%⇒77.4%</p> <p>【取組状況】 今年度も『花咲カード』&『健康チェックカレンダー』を活用し、基本ケア（食事・水分・排泄・運動）の実施・確認を行った。</p> <p>① 水分摂取量目標達成 100%を設定。目標に対して達成率 62.5% 食事の際の水分摂取量の確認・記録は確実に実施。自己チェックできる方は『健康チェックカレンダー』に記入されている。</p> <p>② 運動弱者の個別運動目標設定・実施 80%（体調不良時を除く）を設定し『花咲カード』表紙に目標を明記する事でご本人にも意識して頂いている。 目標に対して達成率 99.5% 設定した目標に対して積極的に取り組まれるご利用者が多い。</p> <p>③ 排便確認及び 100%を設定。 目標に対して達成率 68.9% 排泄動作自立の方には、『健康チェックカレンダー』に自己チェックして頂き把握している。</p> <p>【課題】</p> <p>① 自立度の高い方を含め全利用者様への水分摂取の働きかけの工夫は継続し、次年度は水分摂取が特に課題となっている利用者様を『水分要支援者』として絞り込み、個別の水分摂取量目標達成を目指していく。</p> <p>② 利用者様の自己実現目標をより具体的なものにし、実現に向けた支援内容を確実にケアプランに落とし込んでいく。</p> <p>③ 概ね水分摂取が課題の方、認知症進行のある方に、排便が課題に繋がっているケースが多くみられるため、『排便要支援者』として絞り込み、排便状況の改善と把握率アップに繋げていく。</p>

<p>【目標】 不適切ケアゼロ</p> <p>【達成計画】</p> <p>① 研修受講状況確認とフィードバックの実施</p> <p>② 『虐待の芽チェックリスト』実施(奇数月)と検証</p>	<p>【目標】 不適切ケアゼロ⇒目標達成</p> <p>【取組状況】 年間研修計画に則り、法廷研修(e-ラーニング研修)受講状況を職員別に確認。月例会議にて不適切ケアの考え方について協議を行った。また、『虐待の芽チェックリスト』を定期的実施した。</p> <p>① 研修受講状況確認とフィードバックの実施⇒100%</p> <p>※下半期からは、『介護の良心シート』提出目標月2件に変更。⇒達成率16.7%</p> <p>② 『虐待の芽チェックリスト』実施⇒63.6%</p> <p>【課題】 職員からもっと率直な意見が出やすいように、チェックリストの目的や意義を改めて伝え、安心して回答できるような工夫が必要。</p>
<p>【目標】 利用者自己実現願望達成100%</p> <p>【達成計画】</p> <p>① 『ご長寿チェック』と面談結果を基に、ケアプランに反映</p> <p>② モニタリング時の目標達成状況確認</p>	<p>【目標】 利用者自己実現願望達成100%</p> <p>【取組状況】 2ヶ月毎に実施する『ご長寿チェック』面談の中で、その方の願望の聞き取りと実現に向けた目標を設定し、ケアプランに反映させている。</p> <p>① 『ご長寿チェック』と面談結果を基に、ケアプランに反映⇒83.3%</p> <p>② モニタリング時の目標達成状況確認⇒89.4%</p> <p>【課題】 面談およびアセスメント・モニタリング時に、より具体的な自己実現願望を引き出し、職員が行う支援内容の質を高めていく。</p>

リスクマネジメント	<p>【目標】 事故発生改善率 100%</p> <p>【達成計画】 委員会にて毎回 2 事例の事例検討会を実施</p>	<p>【目標】 事故発生改善率 100%</p> <p>【取組状況】 事故発生：前年度 16 件⇒今年度 10 件 毎月事故防止委員会にて、事故及びヒヤリハット報告を基に利用者個別のリスク把握と対策検討を行った。</p> <p>【課題】 ヒヤリハット報告に該当する場面を発見しても、報告書作成に苦手意識を持ち提出に繋がらない職員がいるので、職員一同でサポートしながらリスクの共有に努めていく。</p>
	<p>【目標】 リスク評価改善率 100%</p> <p>【達成計画】 ① 利用者個別リスク評価・検証毎月実施 ② トルト評価改善率 100%</p>	<p>【目標】 リスク評価改善率 100%</p> <p>【取組状況】 ① 利用者個別リスク評価・検証を毎月実施⇒98.6% 利用者個別面談や事故防止委員会の中でしっかりと検証している。 ② トルト評価『ほこ点』維持・改善率 100%を設定⇒維持・改善率 68.1% 毎月及び状態変化時にトルト評価を実施している。評価改善率 100%は達成できていないが、殆どの利用者は『ほこ点』点数の大幅な変動はみられていない。</p> <p>【課題】 トルト評価のフィードバック内容を、歩行が課題となる利用者様のケアプラン支援内容に反映し、職員が共通したセルフリハビリ支援を行う。</p>

人材の確保・育成・定着	<p>【目標】</p> <p>① 新規職員紹介目標 1名</p> <p>② 中途職員紹介目標 2名</p> <p>③ 職員定着率 100%</p> <p>④ 研修受講率（eラーニング受講率）100%</p>	<p>【目標・取組状況】</p> <p>① 新規職員紹介目標 1名 ⇒ 0名</p> <p>② 中途職員紹介目標 2名 ⇒ 0名</p> <p>③ 職員定着率 100% (13名/13名) ⇒ 92.3% (1名退職)</p> <p>④ 研修受講率（eラーニング受講率）100%</p> <p>毎月、事業所の目標受講率と職員別の受講率を掲示し、毎月受講率目標達成するように働きかけた。</p> <p>【課題】</p> <p>インスタグラムやブログなどSNS活用のスキルを高め、人材確保に繋げていく。</p>
-------------	--	---

組織マネジメント	<p>【目標】 自己点検シート適合率 100%</p> <p>【達成計画】 管理者・リーダーによる点検シート重点項目確認（毎月）</p>	<p>【目標】 自己点検シート適合率 100%</p> <p>【取組状況】 小規模多機能型居宅介護事業所及びサービス付き高齢者向け住宅における自己点検シートを確認しながら、必要に応じて情報公表項目の変更や届出を速やかに実施し目標達成。</p> <p>【課題】 情報公表システムの適宜更新と、今後は電子申請が主流となる行政手続きを滞りなく実施していく。</p>
	<p>【目標】 1on1 フィードバックミーティング 100%実施</p> <p>【達成計画】 フィードバックミーティング実施計画をガルーンに確実に入力し計画的な面談実施</p>	<p>【目標】 1on1 フィードバックミーティング 100%実施⇒達成率 71.6%</p> <p>【取組状況】 管理者がフィードバックミーティング実施スケジュールをガルーン内のカレンダーに入力し、職員も自分の面談スケジュールを把握し、下半期は概ね計画的に面談を実施する事ができた。</p>
	<p>【目標】 経理事務事故ゼロ</p> <p>【達成計画】 小口現金突合 100%</p>	<p>【課題】 面談する側（管理者・リーダー）の面談手法のスキルアップと、職員個別の標的行動への更なる意識付け。</p>
	<p>【目標】 稟議決裁プロセスの遵守</p> <p>【達成計画】 出勤時のキントーン未処理（コメント）確認 100%</p>	<p>【目標】 稟議決裁プロセスの遵守</p> <p>【取組状況】 出勤時のキントーン未処理（コメント）確認 100%⇒99.2% 事業所職員共有画面を確認できる職員が確認し、ミーティング時に他職員に伝えている。</p>
	<p>【目標】 施設管理・点検完全実施</p> <p>【達成計画】 点検報告書提出 100%（毎月）</p>	<p>【目標】 施設管理・点検完全実施</p> <p>【取組状況】 点検報告書提出 100%（毎月）⇒91.7%</p>

		点検表を基に各担当者が点検を実施。修繕必要な箇所の改善等に繋げている。 【課題】 点検項目の見直しや精度を上げていく
地域への公益的取組	【目標】 地元地域行事への協力活動(出席義務以外) 【達成計画】 ① 申請の提出(2名/月以上) ② 参加状況の確認(フィードバックミーティング時)	【目標】 地元地域行事への協力活動(出席義務以外) 【取組状況】 地域行事や研修会に参加(5名/12名)。年間1回は参加目標としていたが、目標達成できなかった職員は、地域貢献をテーマにレポートを提出した。 【課題】 各職員が地域行事など地域貢献できる活動の情報を収集するためのアンテナを張り、チームで共有し合う事が必要。

5. 運営推進会議の開催状況

以下の構成員にて6回の運営推進会議を開催し、活発な意見交換を行った。

委員	利用者家族	1名	西海市職員	1名
	地域住民の代表	3名	西海市社協	1名
事業所	理事長 サポートセンター長 小規模多機能ホーム管理者 介護支援専門員			5名

○実施状況

回	月日	参加数	主な協議テーマ
第1回	5月22日	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模多機能型居宅介護の事業内容について ・令和5年度研修実績報告、令和6年度研修計画について ・利用者の暮らし紹介(動画) ・運営状況報告 ・意見交換
第2回	7月17日	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・事例紹介 ・自立支援介護についての取組み紹介 ・運営状況報告 ・意見交換

第3回	10月6日	17名	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム合同避難訓練 ・運営状況報告 ・意見交換
第4回	11月13日	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者アンケート結果報告 ・運営状況報告 ・サービス評価について ・意見交換
第5回	令和7年 1月31日	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス評価まとめ報告 ・運営状況報告 ・書面会議の意見、情報提供
第6回	3月5日 (書面会議)	9名	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス評価結果報告 ・運営状況報告 ・意見交換

6. 主な活動状況

4月	<ul style="list-style-type: none"> ・スプリングマルシェ ・花咲カード表彰式 ・桜ドライブ ・茶話会 ・オンラインツアー (水戸偕楽園) ・懇談会 ・誕生会 ・脳トレーニング ・ご長寿チェック (個別面談)
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーション大会 ・鯉のぼりあげ ・ご長寿チェック表彰式 ・脳トレーニング ・ご長寿チェック (ご利用者自己評価)
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・あじさいドライブ ・買物ツアー ・オンラインツアー (大洗水族館) ・茶話会 ・脳トレーニング ・懇談会 ・ご長寿チェック (個別面談)
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・黒ダイヤ三楽坊コンサート ・スイカ重量当て大会 ・懇談会 ・誕生会 ・脳トレーニング ・茶話会 ・七夕の集い
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・脳トレーニング ・懇談会 ・ご長寿チェック (ご利用者自己評価) ・茶話会
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会 ・茶話会 ・レクリエーション大会 ・脳トレーニング ・茶話会 ・ご利用者アンケート ・ご長寿チェック (個別面談)
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・カラオケ大会 ・コスモスドライブ ・誕生会 ・茶話会 ・脳トレーニング ・ご長寿チェック (ご利用者自己評価)
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーション大会 ・干し柿作り ・脳トレーニング ・懇談会 ・茶話会 ・誕生会 ・ご長寿チェック (個別面談)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスコンサート ・クリスマスビンゴ大会 ・オンラインツアー (吉野ヶ里) ・脳トレーニング ・茶話会 ・ご長寿チェック (ご利用者自己評価)
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・カラオケ大会 ・第一興商オンラインコンサート ・脳トレーニング ・茶話会 ・ご長寿チェック (個別面談)
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーション大会 ・節分茶話会 ・誕生会 ・雛段飾り
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひな祭り茶話会 ・誕生会 ・ご長寿チェック (ご利用者自己評価)

7. 会議・委員会開催状況

- | | |
|---------------------|-------|
| ① 職員全体会議 | (11回) |
| ② 身体拘束等適正化及び虐待防止委員会 | (11回) |
| ③ 防災委員会 | (9回) |
| ④ 事故防止委員会 | (11回) |
| ⑤ 医療・感染症対策検討委員会 | (11回) |
| ⑥ 事業所連絡会議 | (12回) |

8. 事業所内研修・訓練参加状況 ※法人主管研修除く（法人報告書に記載）

実施月	内容
4月	・避難訓練 ・生産性向上推進委員会について
5月	・防犯訓練
6月	・防災訓練 ・AED研修
7月	・感染症BCPマニュアル確認 ・感染症対策訓練
8月	・災害時BCPマニュアル確認 ・防災訓練
9月	・防犯訓練 ・避難訓練
10月	・サービス評価について ・グループホーム合同避難訓練
11月	・避難訓練 ・身体拘束研修 ・感染症対策訓練
12月	・サービス評価について ・防災訓練
1月	・防犯訓練
2月	・サービス評価について
3月	・避難訓練（夜間想定） ・感染症対策訓練

9. 令和6年度サービス評価

小規模多機能型居宅介護事業所において、年1回、事業所が自ら提供するサービスについて評価・点検を行い、その評価結果について、地域の有識者の皆さんが構成員である運営推進会議において第三者の観点からサービスの評価を実施しています。

・サービス評価結果

令和7年2月14日西海市長寿介護課受理にて確定。

小規模多機能ホームふるさとのホームページにて閲覧可

(<http://furusato-saikai.jp/syokibo.html>)

以上